

日本ユニシスグループ 事業概況資料

日本ユニシス株式会社

2011年11月現在

日本ユニシスグループ

マーケティング & ビジネス開発 & コンサルティング

- **日本ユニシス**
上流提案、コンサルティング、および広範囲なITサービスをコーディネート、提案
- **日本ユニシス・エクセリュージョンズ**
3次元CAD/CAMシステム、住宅CADシステム、ビジネスソリューションの開発・サービスを提供
- **ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ**
企業変革の構想策定からIT導入、改革の定着化まで広範なファシリテーション型コンサルティングを提供
- **エヌユー知財フィナンシャルサービス**
企業評価に不可欠な企業の特許、技術評価に係わる情報提供を通じて、金融・企業調査機関のニーズに対応
- **インテクストラ**
知的資産経営の実現に向けた戦略立案、事業強化等の意思決定に資する情報システムStraVision®の提供、コンサルティング
- **エイファス**
金融機関の現場を知るプロフェッショナルによる、日本の金融業界に適したソリューションの提供

ネットワーク & サポートサービス

- **ユニアデックス**
ネットワーク基盤構築・運用・保守、設備設計・工事など、幅広いICTサービスを、ベンダーを問わず高い顧客満足度で提供
- **エス・アンド・アイ**
仮想化戦略を核にコンサルティングから設計、構築、運用、保守に至るICT基盤ソリューションを提供
- **ネットマークス**
ユニファイド・コミュニケーション、情報セキュリティ、監視サービスを中心としたより高度なネットワーク活用の提案と構築

システムサービス

- **USOLホールディングス**
USOL北海道
USOL東北
USOL東京
USOL中部
USOL関西
USOL中国
USOL九州
USOLベトナム
先進ITとお客様の企業戦略を結びつけ、高い技術と戦略構想力で、お客様に最適なソリューションを提供
- **国際システム**
沖縄県内外において、最新IT技術とノウハウを活かして地域に密着したサービスを展開
- **G&Uシステムサービス**
大型のITフルアウトソーシングと、流通/製造分野のソリューション開発および適用のビジネスを展開
- **ユニエイト**
流通小売業向けシステム、クレジットシステムの開発・運用・保守、および流通小売業へのソリューション適用

アウトソーシング

- **エイタス**
統合アウトソーシング・サービスを24時間・365日、高品質・高技術による高信頼性サービスで提供
- **トレードビジョン**
商品先物業界を中心に、基幹業務のアウトソーシングを展開

グループサービス

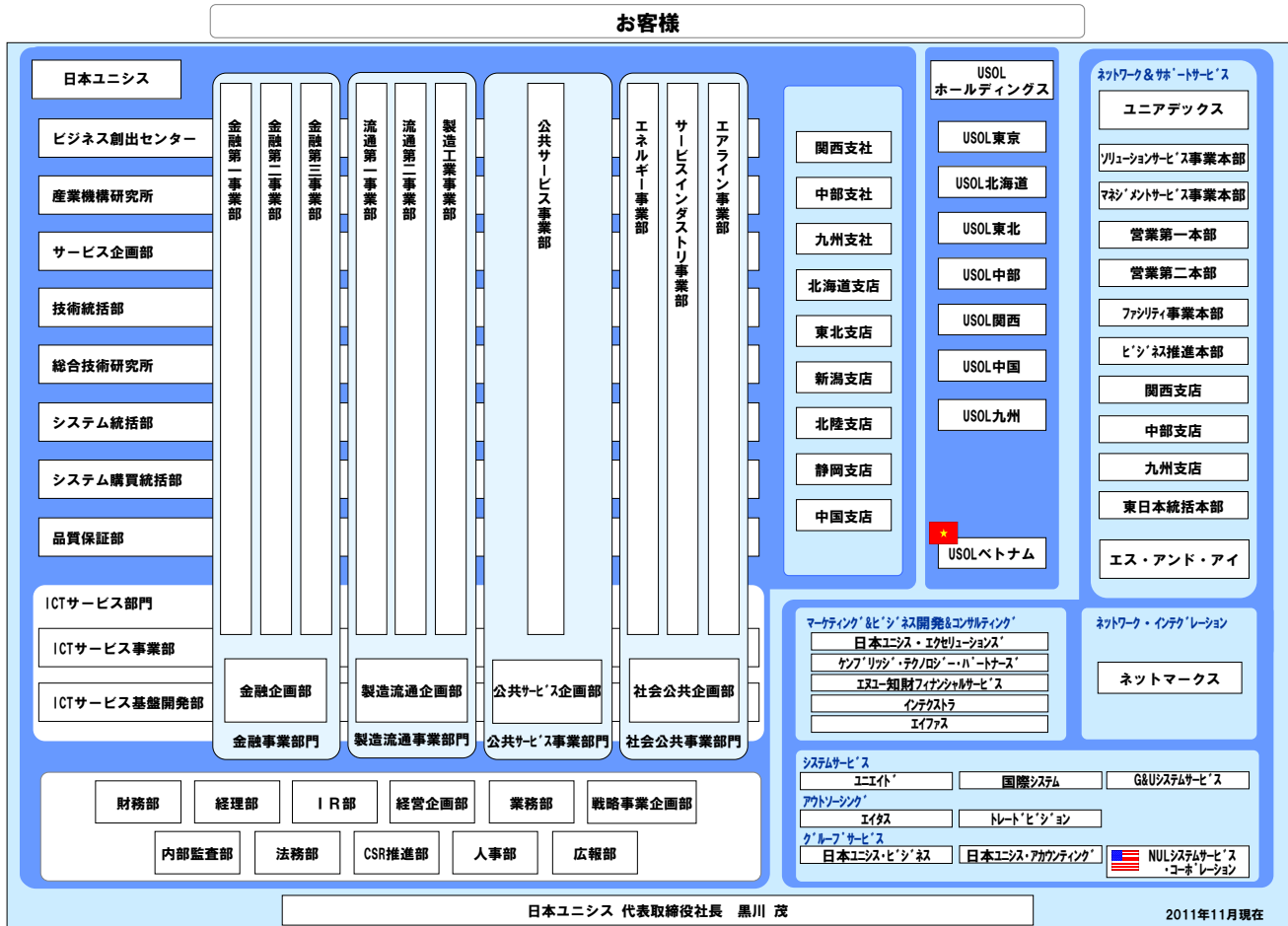
- **日本ユニシス・ビジネス**
グループ各社の共通業務および社員へのサービスを提供（購買・物流・総務・福利厚生・保険・旅行等）
- **日本ユニシス・アカウンティング**
グループ全体の経理専門企業として、高度なグループ経営、ディスクロースの実現を目指す
- **NULシステムサービス・コーポレーション**
米国等海外における先進技術・ビジネスのリサーチ、商材の発掘、米国ユニシスに対するソフトウェアの販売



2011年11月現在

Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved.

2011年度 日本ユニシスグループ体制図



金融分野(金融事業部門)

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

メガバンク・信託

- ・資金証券系システム
- ・信託系ソリューション
- ・事務集中系など

地銀

- ・勘定系システム
- ・資金証券系システム
- ・国際系システム
- ・経営・顧客情報系システム
- ・事務集中系システムなど

証券・保険

- ・証券基幹系システム
- ・FX/商取基幹系システム
- ・保険金・給付金等の支払い
ワークフロー領域
- ・営業支援系など

信金・系統

- ・勘定系システム
- ・資金証券系システム
- ・国際系システム
- ・経営・顧客情報系システム
- ・事務集中系システムなど

共通ソリューション(IFRS*対応システム、電子記録債権システム)、ICTサービス(クラウド型、アウトソーシング型)

※IFRS(International Financial Reporting Standards):国際会計基準

主な取り組みと実績

- 2011年 1月 Windows Server®、SQL Server®を基盤とした「新勘定系システム」が山梨中央銀行で稼働
～次世代オープン勘定系システム『BankVision®』を利用
信用金庫向け「ITガバナンス支援サービス」提供開始
富国生命で給付金イメージワークフローシステムが稼働
- 2月 NRIと銀行向けビジネスで協業
- 4月 北國銀行、阿波銀行が次世代オープン国際勘定系システム「OpenE'ARK®」の採用を決定
- 5月 Windows Server、SQL Serverを基盤とした「新勘定系システム」が鹿児島銀行で稼働
～次世代オープン勘定系システム『BankVision』を利用
Windows Server、SQL Serverを基盤とした「新国際勘定系システム」が
肥後銀行、山陰合同銀行、みちのく銀行で稼働 ～「OpenE'ARK」稼働行は7行に
- 7月 融資稟議支援システムを西武信用金庫で稼働開始
- 9月 東京東信用金庫の勘定系システムを刷新 ～「SBI21」利用ユーザーは19金庫に
- 10月 北國銀行が、次期基幹系システムとして「次世代オープン勘定系システム『BankVision』」の
採用検討に合意

Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

事業トピックス

金融分野

Windows Server、SQL Serverを 基盤とした「新勘定系システム」が 山梨中央銀行、鹿児島銀行で稼働開始

- 日本ユニシスの次世代オープン勘定系システム
BankVision®を利用して、
オープンシステムをベースとした「新勘定系システム」
を開発し、山梨中央銀行は2011年1月に、
鹿児島銀行は2011年5月に稼働開始
- 百五銀行(2007年5月稼働)、
十八銀行(2009年1月稼働)、
筑邦銀行(2010年1月稼働)、
紀陽銀行、佐賀銀行(2010年5月稼働)に続いて
6行目、7行目の「BankVision」稼働
- さらに 地銀1行で採用が決定、
また 北國銀行が採用検討に
合意し、採用予定決定行は**9行**
さらなる受注拡大へ!



NRIと銀行向けビジネスで協業

勘定系システム、インターネットバンキング、
情報系サーバ統合などの分野で

- NRI(野村総合研究所)と日本ユニシスは、
これまでそれぞれが培ってきた**銀行業界およびその業務**
に関する知識、**ソリューション力を相互補完的に活用し、**
より先進的で競争力のある提案を行っていく
- 勘定系システム
日本ユニシスが開発したオープン勘定系システム「BankVision」
および「BANKSTAR®」を活用した銀行向けのソリューションを
両社共同で提案・導入
 - インターネットバンキング
NRIが開発し提供しているインターネットバンキング共同運用
サービス「ValueDirect®」と、日本ユニシスが提供する銀行基幹系
システム群をスムーズに機能連携させることにより、
利用者のニーズに柔軟に対応できる商品・サービスとして提案
 - 情報系サーバ統合ソリューション
日本ユニシスの「サブシステム基盤診断サービス」の
結果を受けたサーバ統合/クラウド化の実装工程について、
「基盤構築サービスを日本ユニシス、ITマネジメントに関する
コンサルティングをNRI」という体制で提案

Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

事業トピックス

金融分野

Windows Server、SQL Serverを
基盤とした「新国際勘定系システム」が
肥後銀行、山陰合同銀行、みちのく銀行
で稼働開始

- 日本ユニシスの次世代オープン国際勘定系システム
OpenE'ARK® を共同利用

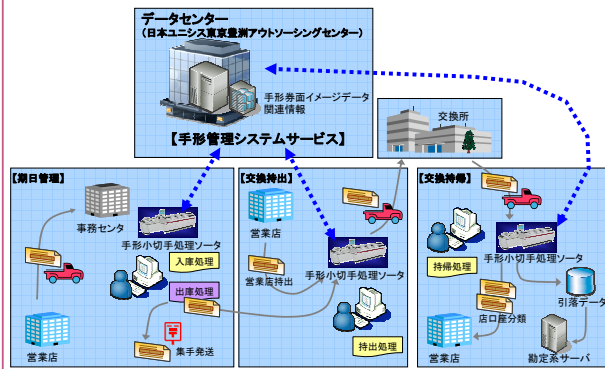
2010年10月から肥後銀行、
2011年1月から山陰合同銀行、
2011年5月からみちのく銀行で業務を開始

- 2011年4月に北國銀行、阿波銀行が採用を決定
地方銀行の「OpenE'ARK」採用ユーザーは9行
(うち稼働ユーザーは7行)



SaaS型 国内初の
「手形管理システムサービス」提供開始
第1号ユーザーとして信金中央金庫で採用

堅牢なデータセンター設備、安全なシステム基盤を利用しながら、
金融機関の事務コストを削減



信用金庫向け
「ITガバナンス支援サービス」提供開始

- 日本ユニシスは信用金庫向け次世代勘定系システム「SBI21」
の提供により、信用金庫におけるIT投資の低減を支援
- 勘定系システムに加えて、サブシステムの管理、統制を推進
することで、さらなるIT投資の低減、全体最適化を支援

Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

製造・流通分野(製造流通事業部門)

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

製造

- ・製造業向けCAD/CAMシステム
- ・住宅業界向け3次元住宅設計システム
- ・購買・調達ソリューション
- ・取引先調査SaaSソリューション
- ・含有化学物質管理システム

流通

- ・小売業向け本部ソリューション
- ・ダイレクトマーケティング(DM)業界向けソリューション
- ・アパレル統合ソリューション
- ・製薬業界向けソリューション
- ・リース業向けトータルシステム

サービスインテグレーターへの変革

～SI事業優先型からサービス事業誘導型へ～

主な取り組みと実績

- 2011年 1月 ファミマ・ドット・コム 総合通販サイト「ファミマ.com」のECシステムを刷新
- 2月 新住宅設計システム「DigiDmeister™」(次期DigiD)販売開始
- 3月 流通次世代基盤「CoreCenter®」を発表
- 4月 購買部門向けSaaS型サービス「eSupplierStation®」を無償で提供
- 6月 製薬業向け営業支援系システムをクラウド型サービスで提供
ティエガイアとギフトカード/プリペイドカードを活用した「カードモールビジネス」で協業
- 8月 日本ユニシスとワークスアプリケーションズ、人事・会計システム分野で協業
「YAMADAモバイル」のポイント会員証サービス、およびインターネットショッピングサービス
と総合インターネットショッピングサイト「YAMADAモール」が、スマートフォンに対応
インフォシス オーエスジーの新基幹システムにクラウド型アプリケーション保守サービスを提供
- 9月 信用金庫系リース会社向け基幹システム「LeaseCreation® for Shinkin Lease」を販売開始
- 10月 アパレル業界大手のワールドへ顧客管理システムをクラウド型サービスで提供

Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

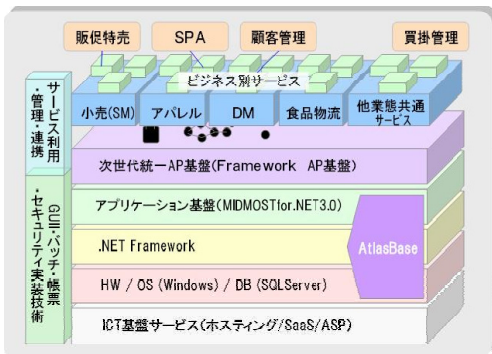
事業トピックス

製造・流通分野

流通次世代基盤 『CoreCenter』

流通向け業務別システムをコンポーネント化し、クラウド型サービスでも提供可能に

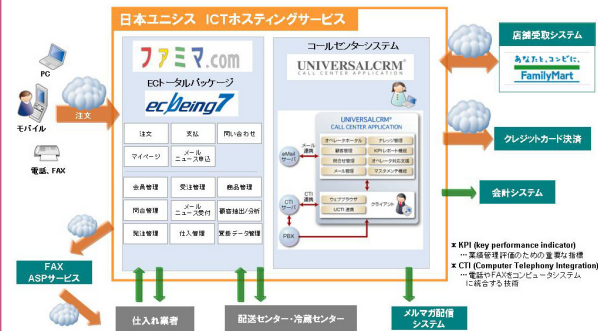
- 流通業の**各業種向けサービスの相互利用が可能**
- SOAを基本としたコンポーネント構造
- クラウド環境での稼働も可能**
- 多くの実績がある基幹系システムの提供で培った知財を投入



第一弾として、基盤と小売業向け基幹システムを提供

総合通販サイト「ファミマ.com」の ECシステムを刷新

U-Cloud® IaaS(ICTホスティングサービス)の利用により、事業展開に対応したサービスを提供



- ICTホスティングサービス上での稼働により、**初期コストを抑えたECサイト構築を実現**
- 実績豊富なEC総合パッケージを**サービス利用型で提供**
- コールセンターシステムとの連携で、顧客サービス向上を実現**
- クラウド型での提供により、**事業拡大やアクセス数の増大にも容易に対応**

事業トピックス

製造・流通分野

新住宅設計ソリューション 『DigiDmeister』

プラグインによる機能追加、処理速度向上、エンドユーザーへのアウトプットがよりスピーディーに！

豊富な実績を持つDigiD®の次期システムとして販売開始

- DigiDの資産を活用しつつ新しい枠組みの構築を可能にするため、**DigiD既存機能群、DigiDmeisterによる新規改善群に分けて構築**
- DigiDで開発したコマンドはそのまま利用し、新しい開発による影響を最小限に抑える仕組みを構築

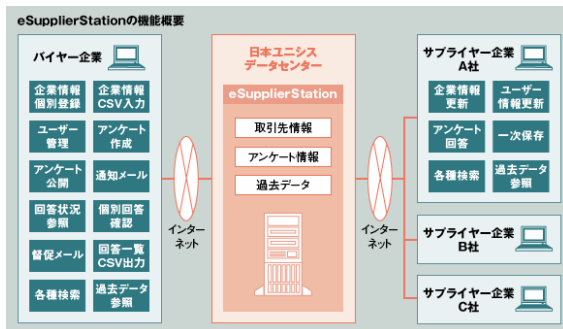


- ①最新フレームワークの採用
- ②処理速度の向上
- ③高精度化
- ④プラグインによる機能追加の実現
- ⑤3次元操作の強化

クラウド型 購買部門向け取引先調査ソリューション 『eSupplierStation』

調達先からの各種情報収集を効率的に実現
大手製造業が部品の供給不足リスク低減のために導入

- 購買部門に必要な取引先からの**情報収集の効率化を実現**
- 取引先の部品供給能力、BCP関連情報を収集し**リスク対策強化を支援**
- SaaS型での提供により、**大型投資が不要**



<その他の購買・調達ソリューション群>

- ・電子見積、電子発注、購買システムを実現する『eProT®』
- ・部品種、取引先軸で情報管理し、査定・評価・分析を行うCSMソリューション
- ・REACH規則対応 含有化学物質管理システム『グリーン調達マイスター』

事業トピックス

製造・流通分野

ワークスアプリケーションズと 人事・会計システム分野で協業

ERPパッケージ「COMPANY®」シリーズの拡販、
U-Cloud IaaS (ICTホスティングサービス)での提供開始

●大手ユーザーに対し「COMPANY」シリーズを販売

「COMPANY」シリーズの販売に関し、ワークスと販売店代理店契約を締結。全業種の大手ユーザーに対し、人事・会計業務領域における「COMPANY」シリーズ販売を開始。

●ワークスのユーザーに対し「U-Cloud for COMPANY」を販売

ワークスは、「U-Cloud IaaS (ICTホスティングサービス)」の販売に関して、日本ユニシスと協業を開始。ワークスの全業種のユーザーに対し、「COMPANY」シリーズとクラウド基盤を組み合わせ「U-Cloud for COMPANY」として提供。

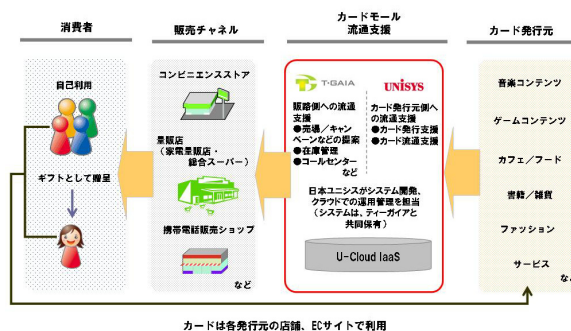
ワークスの「COMPANY」シリーズ・・・

あらゆる業種業態の大手法人に求められる要件を標準機能で網羅し、ノーカスタマイズでの導入を実現するパッケージシステム。2010年度大手企業向け国内ERP販売社数第1位を獲得(※1)、人事給与領域においては、実にシェア50%以上(※2)の実績を誇る。

(※1)市場占有率推移(パッケージ市場)販売社数シェア
出典:株式会社富士キメラ総研 ソフトウェアビジネス新市場 2011年版
(※2)2010年大手企業向け(年商1,000億円以上)人事給与ソリューションのライセンス売上高シェア(エンドユーザー渡し価格ベース)
出典:株式会社矢野経済研究所 ERP市場の実態と展望2010-2011

ティーガイアと ギフトカード／プリペイドカードを活用した 「カードモールビジネス」で協業

- コンビニエンスストアや量販店などに対し、カードモールビジネスの導入を支援。
- カードの調達、店頭プロモーション、システム運用、コールセンターなどのサービスを提供し、カードモールビジネスの展開を支援。



2011年7月 全国のローソン店舗でギフトカードの販売を開始
2011年7月 iTunes、任天堂、HMV、プラザスタイル、
4種類13品目のギフトカードの取り扱いを開始

Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

官公庁・自治体分野(公共サービス事業部門)

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

中央省庁

- ・労働保険適用徴収システム
- ・医薬品等申請・審査システム
- ・工事管理支援システム
- ・公共工事入札・契約情報提供システム など
- ・雇用均等行政情報システム
- ・総務省遠隔教育実証実

自治体

- ・住民情報系システム(住基、税、国保、福祉)
- ・総合文書管理システム
- ・上下水道料金システム
- ・バス運行管理システム など

ICTビジネス

- ・クラウド型住民情報系サービス (Civiccloud®)
- ・クラウド型危機管理情報共有サービス (SAVEaid/セーブエイド®)
- ・クラウド型電子図書館サービス (LIBEaid/ライブエイド®)
- ・パブリッククラウド
- ・プライベートクラウド
- ・アウトソーシング

主な取り組みと実績

2011年 1月 石垣市、五島市にて、小学校の教育ICT化事業に参画

3月 東日本大震災の被災地域の自治体に向け、「自治体クラウドサービス」の無償提供を開始

4月 文部科学省が開設の「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」を支援

5月 日本図書館協会と協働で、「電子書籍を活用した東日本大震災復興支援サイト」を開設

7月 静岡県立中央図書館と協働で、電子図書館の体験プロジェクトを開始

10月 広島県大竹市が、次期基幹業務システムにクラウドサービス「Civiccloud(シビクラウド)」を採用

10月 町田市が防災システムにクラウドサービス「SAVEaid/セーブエイド」を採用し、2012年3月本番に向け構築中

10月 有田川町へ、クラウド型電子図書館サービス「LIBEaid/ライブエイド」を11月から提供

Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

事業トピックス

官公庁・自治体分野

静岡県立中央図書館と協同で、電子図書館の体験プロジェクトを開始

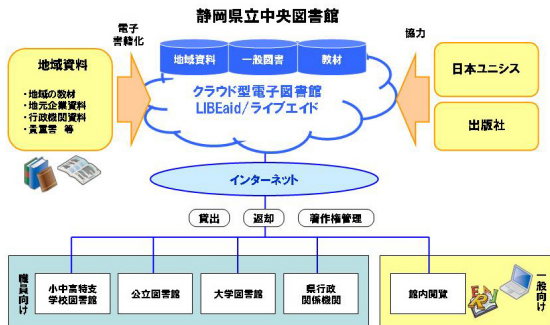
静岡県下でのデジタルコンテンツ利活用の可能性を探る

本プロジェクトは、今後の静岡県・市町の図書館サービスの役割の整理や、静岡県でのデジタルコンテンツ利活用(協同利用)のあり方などを研究するものです。

日本ユニシスのクラウド型電子図書館サービス「LIBEaid/ライブエイド」を利用。

●静岡県下の図書館での電子書籍活用の要件整理

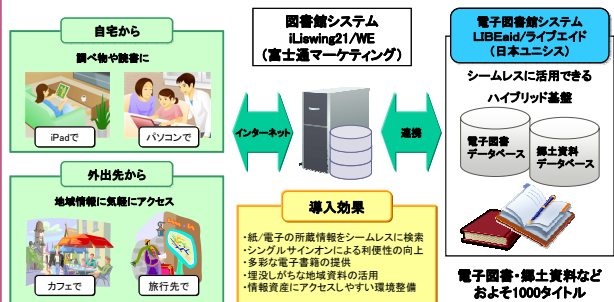
●体験プロジェクトの実施
地域資料などの電子書籍(約130冊)を「LIBEaid」に格納し、静岡県下のモニター図書館(約130団体)から、電子図書館の利用実績や評価を取得。



有田川町へクラウド型電子図書館サービスを提供 和歌山県内初の電子図書館サービスを開始 iPadによるコンテンツ貸出もスタート

富士通マーケティングと協働で、クラウド型電子図書館サービス「LIBEaid/ライブエイド」の提供を11月から開始

- デジタルコンテンツの貸出
24時間いつでもどこでも、デジタルコンテンツが利用可能
- 地域情報の活用
古地図や郷土資料などの地域資料を電子書籍化し公開など、有効活用が可能
- 基幹システムとの連携
図書館の基幹システムと連携、紙と電子書籍の所蔵情報をシームレスに検索
- PC、iPadによる貸出・閲覧
貸出が難しかった著作権保護の必要性が高い商用のデジタルコンテンツをPC、iPad経由で貸出可能



Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

事業トピックス

官公庁・自治体分野

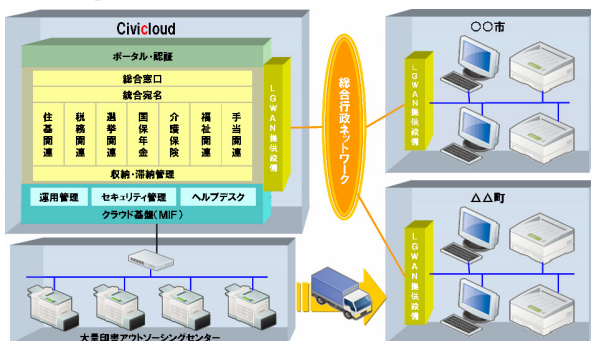
広島県大竹市、次期基幹業務システムにクラウドサービス「Civiccloud」を採用

中国地方初の本格的な自治体クラウドを提供

大竹市が、「Civiccloud」を採用したポイント

- 基幹業務システムの構築・運用コストを従来方式と比べ約40%削減
- 基幹業務システムの運用が、堅牢かつ高セキュリティなデータセンターで行われ、甚大な広域災害が発生しても業務の継続が可能
- 市民サービスの向上を支援する機能、職員の業務負荷を軽減する機能を多数装備
- 豊富な導入実績に裏づけされた基幹業務システムを、安心して利用でき、安全な環境を提供

「Civiccloud」概要図



「Civiccloud」特徴

- 事業継続の実現
- 安心・安全なサービス
- 基幹システムのTCO削減
- 住民サービスの向上など

町田市が防災システムにクラウドサービス「SAVEaid/セーブエイド」を採用

町田市が、「SAVEaid」を採用したポイント

- 町田市要求に合致した実績のあるクラウド型の防災システムであったこと
- 災害時にも強いデータセンターで運用されていること

「SAVEaid」で拡張される機能(2012年3月本番に向けて構築中)

- (1) 地図情報に住宅地図ASPサービスを選択可能(提供:株式会社センリンデータコム)
- 被害受付、被害対応時に表札情報が利用可能。
- 被害情報の登録時、対象被害の面積計測や距離計測を地図上で実施
- (2) 防災設備、防災資機材や生活必需品等の備蓄倉庫の情報管理機能
- 避難所や備蓄倉庫にある備蓄品の管理機能と市町村内にある消火栓や防火水櫃などの防災設備を管理する機能を追加
- 災害時に必要となる備蓄品、防災設備の情報と被害情報を同一システムで管理可能に。



Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

エネルギー・サービス分野(社会公共事業部門)

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

電力・ガス

- ・【電力】営業/管配/経理/工事管理システム
- ・【ガス】営業/供給管管理システム
- ・【EV】EV充電インフラ (smart oasis®) など

航空・運輸

- ・【エアライン】国内旅客/国際国内貨物システム、国内旅行システム、航空機整備システム
- ・【鉄道】特急座席予約システム、顧客会員管理システム など

医療・旅行 他

- ・【医療・介護】電子カルテ/医事会計システム、介護業務支援システム
- ・【旅行】旅行基幹システム
- ・【テレコム】サービス申込受付/メルマガシステム など

サービスインテグレータへの変革 ～SI事業優先型からサービス事業誘導型へ～

主な取り組みと実績

2010年4月～ サービスソリューションの開発、販売開始

2011年 3月 東名高速道路の全てのサービスエリアの「電気自動車用急速充電システム」に充電インフラシステムサービスを提供

6月 クルマの燃費と事故とCO2を削減するソフト「ピースケ@燃費」を開発！

6月 兼松と日本ユニシス、電気自動車向け充電インフラシステムサービスにおける相互認証が実現

7月 日産リーフのカーナビに充電施設空き情報を配信

10月 日本ユニシスなど12社 「充電インフラネットワーク技術ワーキンググループ」を設置

Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

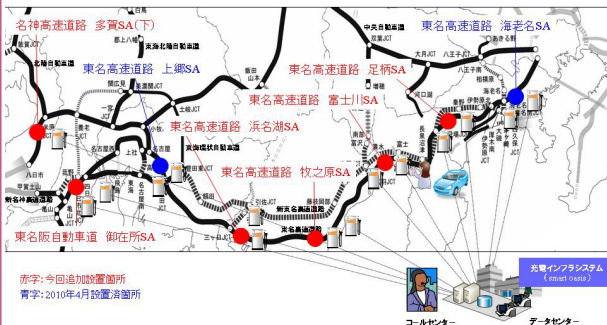
事業トピックス

社会公共分野

充電インフラシステムサービス『smart oasis』

東名高速道路の全てのサービスエリアの「電気自動車用急速充電システム」に充電インフラシステムサービスを提供

- NEXCO中日本と高速道路関連社会貢献協議会が、共同で東名高速道路の全てのサービスエリアで運用を開始する「電気自動車用急速充電システム」へ「smart oasis」を提供。
- 東名高速道路、名神高速道路、及び、東名阪高速道路の計11箇所(計15箇所)に急速充電器を増設し、東京～名古屋間をEVで連続走行することが可能になった(計15箇所設置)

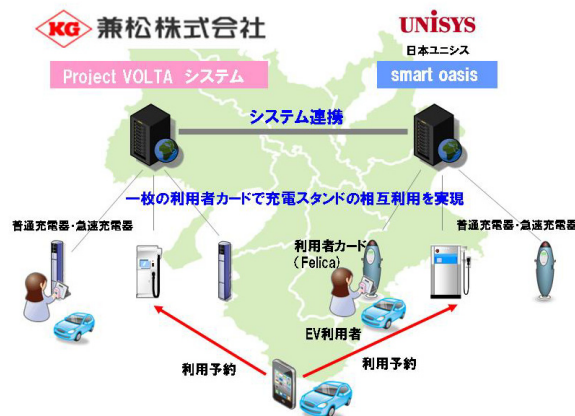


- 充電システム利用料の課金・決済
- 通信機能を内蔵した急速充電器を用いたICTシステム
- コールセンターによる24時間365日のユーザーサポート

兼松と日本ユニシス 電気自動車向け充電インフラシステムサービス における相互認証が実現

～京都の急速充電器と「おおさか充電インフラネットワーク」の認証連携が実現、京阪神の広域連携へ！～

- 京都府に設置している兼松の充電器と大阪府と神戸市で構築している「おおさか充電インフラネットワーク」の充電器、あわせて34基について、一枚のカードで相互に利用可能。
- EVによる京阪神間の広域移動がより便利になり、関西広域での利用シーンは拡大。



Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

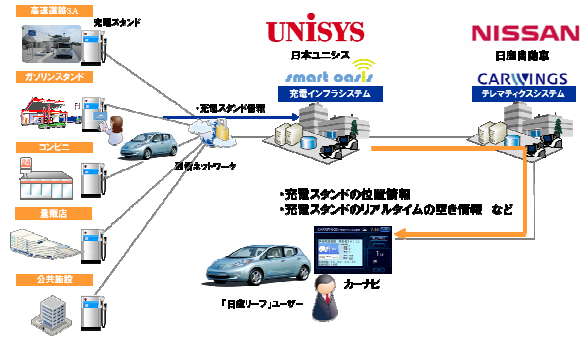
事業トピックス

社会公共分野

日産リーフのカーナビに充電施設空き情報を配信
 ~NEXCO中日本管内サービスエリアと
 おおさか充電インフラネットワークの急速充電器の情報から
 サービス提供を開始~

「日産リーフ」向け充電インフラ情報配信サービスは、日産自動車のテレマティクスサービス(カーウイングス向け)に、「smart oasis」と通信ネットワークによって繋がっている充電器の情報を配信

- 現在地周辺の充電器状態情報(満空情報)を提供
 充電器情報をリアルタイムに管理する「smart oasis」と日産カーウイングスのシステム連携を実現。「日産リーフ」に標準装備されたカーナビ向けに、リアルタイムの充電器情報の配信が可能に。
- 高速道路のサービスエリア、関西広域圏から全国への展開
 カーナビへの「充電インフラ情報配信サービス」を東名、名神、東名阪自動車道のサービスエリアおよび大阪府、神戸市に設置された急速充電器の情報配信からスタート。

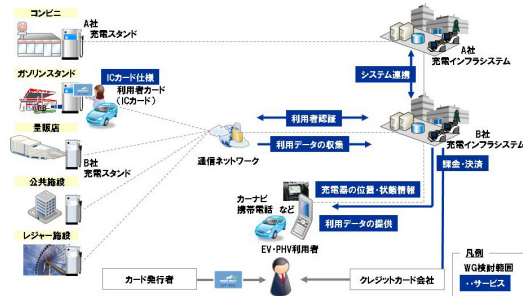


日本ユニシスなど12社
「充電インフラネットワーク技術ワーキンググループ」を設置
 ~大阪府、チャデモ協議会と共同で、
 技術標準化に向けた取り組みを始動~

「おおさか充電インフラネットワーク」を構築する充電器メーカーやIT企業12社で「充電インフラネットワーク技術ワーキンググループ」を設置。
大阪府とCHAdemo(チャデモ)協議会と共同で、
充電インフラネットワークの技術標準化に向けた取り組みを開始

- 活動目標
 充電インフラネットワークを複数の充電器メーカーやIT企業によって構築し、EVユーザーに利便性の高い充電サービスを効率的に提供するために、必要となる統一的な技術仕様を検討し、実証実験などを通じて検証を実施。
- 検討範囲

- ①ICカードを用いた利用者認証
 - ②充電サービス利用データの収集と提供
 - ③充電器の位置、状態情報(満空情報など)の収集と提供
 - ④課金、決済
 - ⑤外部システム連携
- 【ワーキンググループ検討範囲 概念図】



Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

ICTサービス(ICTサービス部門)

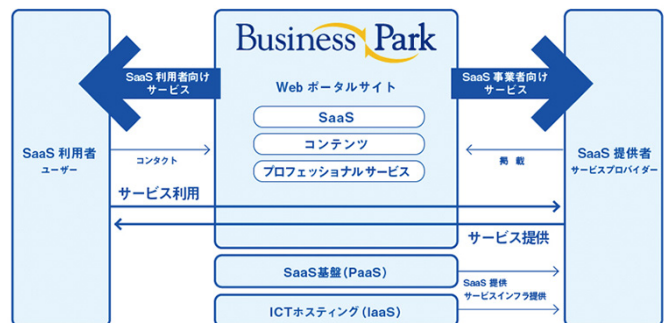
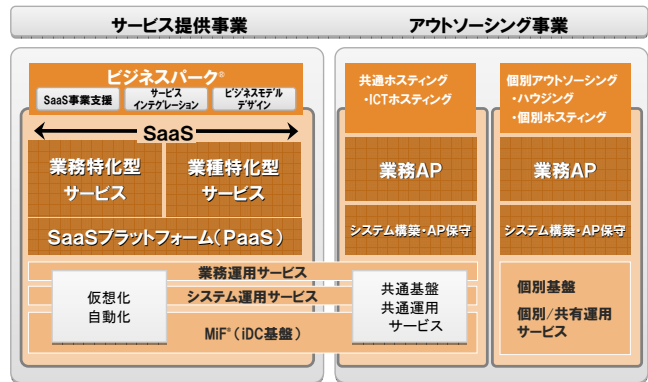


ICTサービス事業の推進

「ICTサービス部門」は「ICTサービス事業部」と「ICTサービス基盤開発部」で組織されている

主な取り組み(2011年1月~9月)

- 2月 ICTサービスの新しい名称に「U-Cloud」を採用し、クラウドサービスの充実と強化を図る
 U-Cloud IaaSサービスに新ラインアップ「ICT仮想デスクトップサービス」の提供開始
- 3月 SaaS型教育プラットフォーム「LearningCast®」アップデート5提供開始
- 4月 クラウドサービスのカーボンフットプリント値の大幅削減実現
- 5月 企業間電子取引(BtoB)プラットフォームを運営するインフォーマットに「U-Cloud IaaS」を提供
- 6月 オールインワンのインターナル・プライベートクラウドパッケージ「U-Cloud @IPCP™」を提供開始
 SaaS型で在宅勤務・遠隔地間でのコミュニケーションを実現するサービス「PowerWorkPlace®」の無償提供を開始
- 7月 SaaS型教育プラットフォーム「LearningCast」アップデート6提供開始
- 8月 日本ユニシス、ユニアデックス、移設や保守まで手間いらずの「ラックハウジングサービス」提供開始
- 9月 日経BP社「第3回クラウドランキング」において、2部門で「ベストサービス」に選出される



Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

小浜データセンター

クラウドコンピューティングに最適化した郊外型のデータセンターである
 「クラウドコンピューティング・データセンター」を福井県小浜市に構築することを決定
 2012年1月に稼働を予定

【日本ユニシス 小浜データセンターの概要】

場 所 : 福井県小浜市
 敷地面積 : 約20,000m²
 サーバー棟 : 鉄骨造 延床約1,700m²・
 平屋建(1棟)、
 最大5棟まで増築可能、
 床荷重1.5t/m² 免震床構造
 事務棟 : 約1,200m²
 供給電力 : 標準で2KVA/m²が対応可能



【日本ユニシス 小浜データセンターの特徴】

利便性がよく周辺を緑に囲まれた広大な敷地に郊外型データセンターとして最大5棟まで増築可能
 原子力発電所近傍の立地である強みを活かした高信頼度の系統構成による受電が可能
 省エネルギーを考慮した空調設備機器と最新冷却システムの採用による効率的な空調設備を装備
 建物屋上部分には太陽光発電を装備し、グリーンデータセンターも配慮した設計
 セキュリティは、建物外周を含めた入退室管理システムの導入により高セキュリティを確保

Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

U-Cloud IaaSサービスに新ラインアップ 『ICT仮想デスクトップサービス』の提供開始

～ デスクトップ環境をクラウド上に構築し、
 さまざまな場所・端末から利用できる環境を提供 ～

- 利用者のPC環境の制限を受けずに、**さまざまな場所・端末から安全に利用できる環境**を提供
- 本サービスと「U-Cloud IaaS」上のサーバー環境、ストレージ環境と組み合わせることで、会議室や支社など**オフィス環境の変化にも柔軟に対応**
- ネットワークに繋がれば、PC、スマートフォンなどから仮想デスクトップ環境にアクセスできるため、**外出先での業務やサテライトオフィス、在宅勤務にも対応可能**



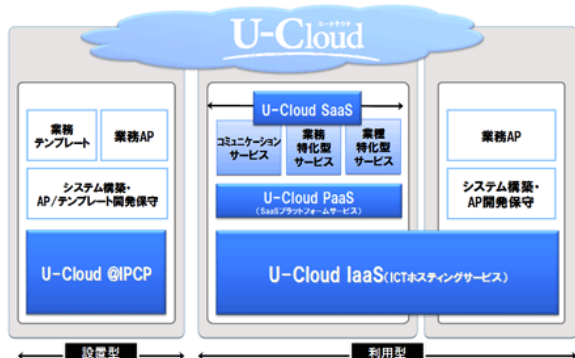
Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

**オールインワンのインターナル・プライベートクラウドパッケージ
「U-Cloud @IPCP」を提供開始**

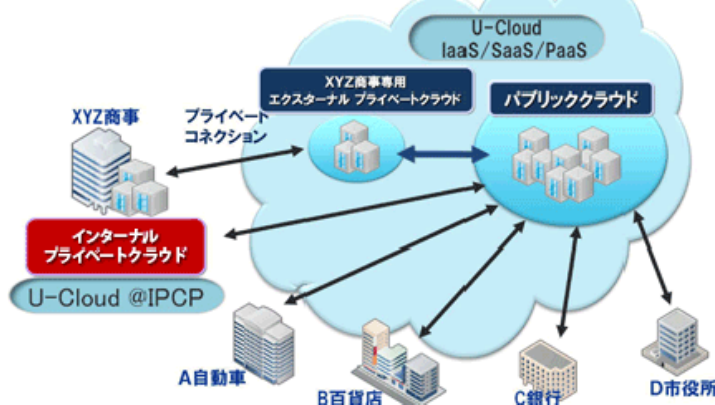
～ サーバー統合、クラウド化による効率化、利便性の拡大に加え、CO2削減、電力使用料の削減に寄与 ～

- U-Cloud @IPCP (インターナル・プライベートクラウド:Internal Private Cloud Package)は、企業内クラウドの構築に必要な、**ハードウェア、ソフトウェア、基本的な導入サービスなどをパッケージングして提供**
- 導入サービスは、機器の組み立てとソフトウェアのインストールを行い、標準構成の設定を事前に実施した状態で出荷するため、**利用開始までに要する時間の短縮を可能に**
- U-Cloud IaaSをはじめとする利用型クラウドサービスとの連携オプションを利用することで、**自社内のプライベートクラウド環境をパブリッククラウドと統合し、利用用途に応じて使い分けることも実現可能**

U-Cloud全体概要



企業内クラウドとパブリッククラウド を組み合わせ合わせたクラウド環境



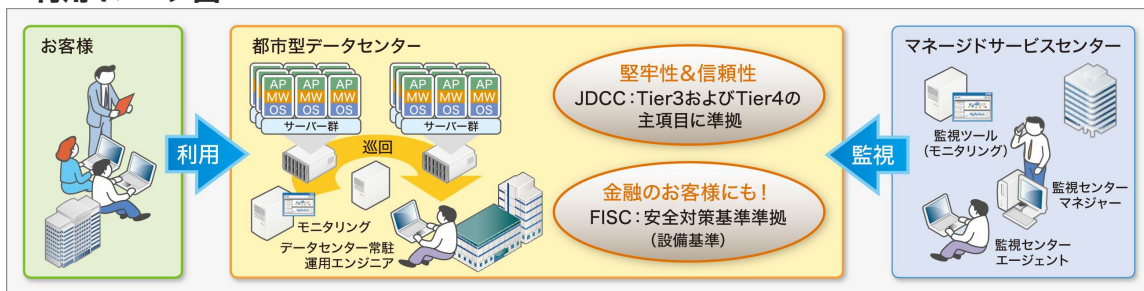
Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

**日本ユニシス、ユニアデックス
移設や保守まで手間いらずの『ラックハウジングサービス』提供開始**

～ 堅牢性、安全性を確保した都市型データセンターでサービス提供 ～

- ラック使用料、電気固定料金 (3kVA)、基本運用をパッケージング化して提供
- JDCCのTier3/Tier4の主項目、FISCの安全対策基準に準拠した**都市型データセンター**を新たに稼働させ、**堅牢かつ信頼性の高いサービスを提供**
- 24時間365日の運用サービスや、ハウジングサービス利用開始時に利用者自身がしなければならない煩雑な処理、移設運送手配、回線の移設・増新設といった複数の業者への手配や経費処理まで取り纏めて行う**ワンストップサービス**も用意

利用イメージ図



Copyright © 2011 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved. (敬称略)

主なニュースリリース
(2010年10月～2011年10月)

日本ユニシス株式会社

主なニュースリリース（2010年10月～2011年10月）



: ICTサービス







: 次世代オープン勘定系システム



: 充電インフラシステムサービス





日本ユニシス

| 発表日 | 内 容 |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 2010年 10月4日 | <p>弘前大学が行う「青森県六ヶ所村におけるICT(情報通信技術)の技術仕様検証のための地域実証」事業に参加</p> <p>日本ユニシスは、国立大学法人 弘前大学が行う「青森県六ヶ所村におけるICTの技術仕様検証のための地域実証」事業に参加します。</p> <p>本事業は、総務省の委託を受けて、弘前大学北日本新エネルギー研究所が中心となり、青森県および青森県六ヶ所村の協力を得て、日本ユニシスなどが共同で実施するものであり、「電力需要の見える化」と「需要予測シミュレーション」により、電力利用の効率化・最適化を支援するICTシステムの構築・検証を行います。本事業では、六ヶ所村の支援により、六ヶ所村尾駈レイクタウンに居住する家族構成の異なる300戸の世帯からデータを取得し、「電力需要の見える化」の効果の把握と「電力需要予測」を高い精度で行うことにより、将来のスマートグリッド構築に貢献することを目指しています。</p> |
| 2 10月7日 | <p>京セラコミュニケーションシステムと協業しSaaS型変更管理サービス「iSECURE® Tripwire for SaaS」を提供</p> <p>～ ガンブラー対策、内部統制対応に適したソリューション ～</p> <p>日本ユニシスは、変更管理ソリューション「Tripwire®(トリップワイヤ)」を利用したSaaS型変更管理サービス「iSECURE(アイセキュア) Tripwire for SaaS」を、11月1日より販売開始します。</p> <p>昨今、企業におけるWebサイトのセキュリティ維持は企業経営の必須要件であり、ガンブラーなどのウイルスやサイバー攻撃による意図しない改ざんなどを即時に検知するソリューションが求められています。また、内部統制の観点からも、サーバの設定変更管理は重要です。</p> <p>しかし、変更管理ソリューションを自社で導入、構築、運用することは、情報システム運用者にとっての運用や初期コストの負担が大きく、対応を躊躇している企業が多く見受けられました。この課題解決ニーズを受け、日本ユニシスは、京セラコミュニケーションシステムと協業し、SaaS型「Tripwire」サービスを商品化しました。「iSECURE Tripwire for SaaS」は、「Tripwire」を使って、お客さまの管理者にインターネット上で管理画面を提供する日本初の変更管理サービスです。</p> |
| 3 10月13日 | <p>環境省「電気自動車による日本版Autolibに関する技術開発」の採択を受け、大阪府内にて電気自動車共同利用事業プロジェクトを発足</p> <p>～ 「日産リーフ」のカーシェアリング車両導入 ～</p> <p>オリックス自動車、日本ユニシス、イード、ジェーシービーは、環境省の2010年度地球温暖化対策技術開発等事業において「電気自動車(EV)による日本版Autolibに関する技術開発」の採択を受け、2011年1月より大阪府の協力のもと電気自動車共同利用事業プロジェクトを発足します。本プロジェクトでは、日産自動車のEV「日産リーフ」用のカーシェアリングシステムや、大阪府が推進し、今後近畿圏に広げることとしている「おおさか充電インフラネットワーク」利用時にエコ・アクション・ポイントが付与されるしくみ、またEV利用時に目的地までの走行距離確認や充電場所情報をスマートフォンで入手できる情報提供システムなど、EV社会の到来に向けた各種サービスを開発します。今回、共同で推進する電気自動車共同利用事業は、大阪府が進める「大阪EVアクションプログラム」の中で、EVに関わる新しいサービスを社会インフラの一つとして構築しようとするものです。</p> |
| 4 10月18日 | <p>熊本市へ「行政文書目録公開システム」をSaaS型で提供</p> <p>～ SaaS型サービスの利用により、短期間でサービスを開始 ～</p> <p>日本ユニシスは、自治体向け「UniCity® 総合文書管理システム SaaS Edition」を構成するひとつのサービスである「情報公開サービス」を熊本市に提供しました。</p> <p>熊本市では、このサービスを利用して、行政の意思決定過程を記録した公文書の件名や担当課、起案・收受日等の目録情報を市民がインターネットを利用して検索・閲覧できる行政情報の公開と共有を実現し、積極的な行政情報等の公開により、市民から信頼される市政の運営と、熊本市自治基本条例の基本理念の一つである情報共有、信頼及び協働による市政・まちづくりの実現を目指すとしており、2010年10月18日から行政文書目録公開システムの一般利用を開始します。本システム導入方式の検討にあたっては、複数のシステム方式(自設(インハウス)方式、ホスティング(レンタルサーバー)方式、SaaS・ASP方式など)を多角的に検討した結果、受託事業者サーバー上のアプリケーションプログラムを有料で利用するSaaS・ASP(アプリケーション サービス プロバイダー)方式を採用することに決定しました。このことから、日本ユニシスが提供する自治体向け「UniCity総合文書管理システム SaaS Edition」の「情報公開サービス」が熊本市の期待するシステム要件(仮想化技術を利用したSaaS型サービスであることなど)を満たしているとして、今回選定されました。</p> |

| 発表日 | | 内 容 |
|-----|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 | 2010年 11月8日 | <p>総務省「新ICT利活用サービス創出支援事業」(電子出版の環境整備)に係わる委託先に決定</p> <p> ビジネス支援図書館推進協議会が代表提案者、日本ユニシスなどが共同提案組織として応募しました「図書館デジタルコンテンツ流通促進プロジェクト」が、総務省の2010年度「新ICT利活用サービス創出支援事業」(電子出版の環境整備)の委託先として決定しました。</p> <p>本プロジェクトは、急速に普及が進む電子書籍などのデジタルコンテンツを図書館においても積極的に利活用できる環境を整備することで、国民の知への公平なアクセスを確保しながら、新しい市場創造に寄与することを目的としたものです。日本ユニシスは、本プロジェクトの中で電子書籍などのデジタルコンテンツをネットワーク経由で提供する実証実験環境の提供および図書館における電子出版利活用ガイドライン(案)作成支援などを行う予定です。</p> |
| 6 | 11月9日 | <p>日本ユニシス、ネットマークス 化粧品とサロンケアのシーボンが、クラウド基盤で「新店舗管理システム」を稼働</p> <p> ～ ICTホスティングサービス(IaaS)を利用して、全国約100店舗への導入開始、ITインフラの最適化を目指す ～</p> <p>日本ユニシスとネットマークスは、シーボンの「新店舗管理システム」のIT基盤に日本ユニシスのICTホスティングサービスを提供し、10月よりシーボンの一部店舗での稼働を開始しました。今後、全国約100店舗への展開を進めていく予定です。</p> <p>これまでシーボンでは、店舗ごとに「顧客管理」「出退勤管理」「POSシステム」のためのサーバーを設置していました。これらサーバーの保守メンテナンスや店舗拡大に伴うシステム増強など、それぞれの店舗に多大な負荷が掛かっていました。そこでシーボンは、システム運用業務から解放され、業務アプリケーションの追加や店舗の新規開店、移転などに対しても柔軟に対応することが可能なクラウドコンピューティングの活用を決定しました。</p> <p>今回、全国の店舗ごとにあった約100台のサーバーを集約し、クラウド基盤で「新店舗管理システム」を稼働することにより、今後の柔軟なシステム拡張とITインフラの最適化を図る予定です。本システムでは、IT基盤に日本ユニシスのICTホスティングサービス(IaaS)を採用し、ネットワーク設計と構築をネットマークスが行いました。</p> |
| 7 | 11月9日 | <p>地方自治体向け「住民情報系サービス」をクラウド型で提供</p> <p> ～ 地方自治体の基幹業務システムのTCO低減を実現 ～</p> <p>日本ユニシスは、地方自治体の住民情報系基幹業務システムを、クラウド型で提供する住民情報系サービス「Civiccloud™(シビクラウド)」を本日から提供開始します。</p> <p>日本ユニシスは、2009年3月に「ICTで地域にリーズナブルな革新を」のコンセプトのもと、地域への貢献を目指すクラウド型「地域ICTサービス」に注力しています。このITシステムを所有から利用の転換により、導入から運用までのトータルコストを大幅に削減し、職員の方々の負担を軽減することが可能です。「地域ICTサービス」は自治体の業務効率化を推進する「自治体ICTサービス」、地域協働型の街づくりを支援する「パブリックICTサービス」で構成され、2009年10月から各種商品を順次販売開始しています。</p> <p>このたび提供開始する「Civiccloud」は、「自治体ICTサービス」の中核商品となります。「Civiccloud」は、地方自治体から高い評価を得ているパッケージ群を組み合わせ、総務省の自治体クラウド開発実証事業で採用されている、日本ユニシスの仮想化技術をベースにしたクラウド環境でサービスを提供します。</p> <p>「Civiccloud」を利用することで、ハードウェアの経年劣化によりほぼ周期化しているサーバー更改、煩雑な運用管理業務、法改正などに伴うシステム変更作業などから解放されるため、地方自治体の基幹業務システムにかかるトータルコスト(TCO)の約30%の低減を見込みます。「安心」、「安全」、「安定」に、自庁でシステムを運用する形式と変わらずにシステムを利用することができます。</p> |
| 8 | 11月10日 | <p>クラウドコンピューティング・データセンターを福井県小浜市に構築</p> <p> ～ 最大サーバー(仮想)収容台数約30万台を目指し、低コスト高品質サービスを実現 ～</p> <p>日本ユニシスは、クラウドコンピューティングに最適化した郊外型のデータセンターである「クラウドコンピューティング・データセンター」を福井県小浜市に構築することを決定しました。2012年1月に稼働を予定しています。</p> <p>日本ユニシスは、2008年10月に業界に先駆けて最新鋭の技術を採用したクラウド型iDC(internet Data Center)基盤上で、ICTホスティングサービスを開始し、仮想化・自動化した環境下、お客様の要望のリソースや機能を柔軟に組み合わせた構成を短時間に構築することを可能としています。</p> <p>さらに運用サービスやサポートサービスを充実させることによって、24時間365日にわたる高品質なサービス提供を行っています。</p> |

| 発表日 | | 内 容 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9 | 2010年 12月1日 | <p>鎌倉市で「電子図書館の実証実験」のプロジェクトを開始</p> <p>～ 地域でのデジタルコンテンツ利活用の実現を目指して ～ 日本ユニシスとビジネス支援図書館推進協議会は、総務省の2010年度「新ICT利活用サービス創出支援事業」の採択を受け、12月10日から鎌倉市にて「図書館デジタルコンテンツ流通促進プロジェクト」の実証実験を開始します。また、実証実験に先立ち、12月1日から自宅などから電子図書館を利用できるモニターを鎌倉市市民の方を中心に幅広く募集します。</p> <p>現在、国内の公共図書館における電子書籍の取り扱い、ニーズが明確であるにも関わらずガイドラインなどが未整備のため、普及が進まない状況にあります。このため、本プロジェクトでは、アメリカや韓国などの電子書籍先進諸外国の実態を踏まえ、技術要件の整理や運用ガイドライン案の整備を行います。また、日本ユニシスは今回の成果を踏まえ、業界の合意形成を経た上で、公共図書館をはじめとする地域での電子書籍などのデジタルコンテンツの利活用促進を継続的に進めます。</p> <p>今回のプロジェクトは、公共図書館を中心とする「地域でのデジタルコンテンツ利活用のあり方を研究」するものです。このため、一般的な電子書籍(ビジネス書・文学・児童書など)とともに地域発のコンテンツ活用についても実証実験の対象としています。</p> <p>なお、本プロジェクトの実証環境は、電子書籍・デジタルコンテンツを図書館からの提供を可能にする、日本ユニシスのクラウド型電子図書館サービス「LIBEaid/ライブエイド®」を利用します。</p> |
| |  | |
| 10 | 12月13日 | <p>ユニアデックス 業界初、経営レベルでシステム障害の影響度が瞬時に分かり、 障害未然防止可能な「統合システムマネジメントサービス」を提供開始</p> <p>～ 第一弾「業務インパクトアラートサービス」と「改善&障害未然防止アドバイスサービス」～ ユニアデックスは、システム障害の切り分けが物理的に特定しづらいクラウド時代の運用管理業務を可視化し、瞬時に障害発生と影響度を把握、障害の未然防止も可能となる業界初の「統合システムマネジメントサービス」を、2011年1月から提供開始します。</p> |
| |  | |
| 11 | 1月4日 | <p>Windows Server®、SQL Server®を基盤とした「新勘定系システム」が山梨中央銀行で稼働開始</p> <p>日本ユニシスと山梨中央銀行は「BankVision®」を利用して、オープンシステムをベースとした「新勘定系システム」を開発し、2011年1月3日から稼働を開始しました。</p> <p>日本ユニシスは、長年にわたり地域金融機関向けのパッケージを提供してきており、特に地方銀行においては長年蓄えられてきたノウハウに基づき数多くの採用実績を持っています。</p> <p>「BankVision」については、2007年5月に稼働した百五銀行、2009年1月稼働した十八銀行、2010年1月稼働した筑邦銀行、同年5月4日に稼働した紀陽銀行、同年5月5日に稼働した佐賀銀行に続き6行目の稼働となります。</p> |
| |  | |
| 12 | 1月5日 | <p>物流サービス業大手エヌ・ティ・ティ・ロジスコへ SaaS型物流情報プラットフォーム「UNITRA®」を提供</p> <p>～ プラスティックドラムの在庫情報や移動履歴を管理するツールとして、 エリア拡大や業務拡張に柔軟かつスピーディーに対応できるSaaS型サービスを適用 ～ 日本ユニシスは、エヌ・ティ・ティ・ロジスコへSaaS型物流情報プラットフォーム「UNITRA(ユニトラ)」を導入しました。エヌ・ティ・ティ・ロジスコでは、通信ケーブルを搬送・管理するためのドラムをプラスチック化(以下 ecoドラム)し、繰り返し再利用する仕組みを開始しました。この「ecoドラム」は、複数の拠点間を複雑に流通するため、紛失やムダな在庫をなくすためにドラム1個ごとの入出荷実績や在庫状況を精緻に管理する必要があり、その仕組みとして日本ユニシスの「UNITRA」を採用しました。</p> |
| |  | |
| 13 | 1月11日 | <p>ファミマ・ドット・コム 総合通販サイト「ファミマ.com」のECシステムを刷新</p> <p>～ ICTホスティングサービス(IaaS)の利用により、事業展開に対応したサービスを提供 ～ 日本ユニシスは、ファミマ・ドット・コムが運営する総合通販サイト「ファミマ.com」のECシステムを刷新し、ICTホスティングサービス上で12月8日から稼働しました。</p> <p>ファミマ・ドット・コムは、総合通販サイト「famima.com」と食品通販サイト「ファミマ・フードパーク」を統合し、新たな総合通販サイト「ファミマ.com」としてグランドオープンしました。「ファミマ.com」の再構築に際し、小売業界・通信販売業界での多くの経験と実績のある日本ユニシスをシステムパートナーとして選定し、ECシステムのプラットフォームについては、日本ユニシスのICTホスティングサービスとソフトクリエイト社の「ecbeing®」をサービス利用型にて提供することで、ファミマ・ドット・コムはシステム構築コストを抑制しつつ、短期間でのリニューアルを実現しています。</p> |
| |  | |

| 発表日 | | 内 容 |
|-----|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14 | 2011年 1月21日 | <p>信用金庫向け「ITガバナンス支援サービス」提供開始</p> <p>～ サブシステムの管理、統制により、信用金庫のさらなるIT投資最適化を支援する新サービス ～</p> <p>日本ユニシスは、信用金庫におけるIT投資の全体最適化を実現するための「ITガバナンス支援サービス」の提供を開始します。勘定系システムに加えてサブシステムの管理、統制を推進することで、信用金庫におけるさらなるIT投資の低減、全体最適化を支援します。日本ユニシスは信用金庫向け次世代勘定系システム「SBI21」(エス・ビー・アイ21)を、単独自営型、共同アウトソーシング型など各金庫のニーズに合わせた柔軟な運営形態でサービス提供することにより、信用金庫におけるIT投資の低減を支援しています。</p> |
| 15 | 1月25日 | <p>富国生命、日本ユニシス 給付金イメージワークフローシステムを稼働開始</p> <p>～ 給付金支払い査定業務の精度の向上と支払いの迅速化、およびお客さまサービスのさらなる充実を実現 開発効率を高めるため、基盤として日本ユニシスのImage Flow Foundation®を採用 ～</p> <p>富国生命保険相互会社と、日本ユニシスは、給付金イメージワークフローシステムを1月24日から富国生命で稼働開始し、給付金支払い査定業務の精度の向上と支払いの迅速化、およびお客さまサービスのさらなる充実を実現しました。給付金イメージワークフローシステムの開発については、富国生命において給付金支払い査定業務の改革プロジェクトを立ち上げ、これまで行っていた業務を分析のうえ、問題点を整理することから着手しました。日本ユニシスはイメージワークフロー開発における実績・経験をもとに、システム構築パートナーとしてプロジェクトに参画しました。両社協力のもと順調に開発は進捗し、2009年5月から約1年半という短期間でシステムを稼働させました。</p> |
| 16 | 1月27日 | <p>クアッドコア・プロセッサ搭載、従来機から提供性能レンジを約8倍引き上げた エンタープライズサーバー中型機を販売開始</p> <p>～ 「Unisys ClearPath® Server CS4000L シリーズ」を提供 ～</p> <p>日本ユニシスは、米国ユニシスの次世代サーバー・アーキテクチャーを採用した、MCP環境で稼働するエンタープライズサーバー中型機「CS4000Lシリーズ」を本日から販売開始します。本シリーズは、インテル®クアッドコア・プロセッサを搭載し、提供最高性能は従来機の約8倍を達成、提供性能レンジもモデル間で約12倍と大幅に向上させています。「CS4000Lシリーズ」は、「CS450Lシリーズ」の上位機に位置付けられる機種です。本シリーズでは、処理性能を大幅に向上させると共に、企業の基幹システムとして活用していただくために信頼性と可用性を高めたHigh Availability (HA) システムを提供します。さらに提供メモリ容量や内蔵ディスク容量の倍増化を図り、お客さまの運用効率と価格性能比を大幅に向上したシリーズとして提供します。</p> |
| 17 | 1月27日 | <p>兼松と日本ユニシス 電気自動車向け充電インフラシステムサービスにおける相互連携で合意</p> <p>～ 「おおさか充電インフラネットワーク」でシステム連携、広域連携へ！ ～</p> <p>兼松と日本ユニシスは、大阪府の協力のもと、電気自動車 (EV) 向け充電インフラシステムサービスにつき相互に連携を図ることで合意いたしました。</p> <p>兼松は、平成22年12月に大阪府の「緊急雇用創出基金事業・電気自動車 (EV) タクシー普及啓発事業」(以下、EV タクシー普及啓発事業) を共同企業体で受託しました。「おおさか充電インフラネットワーク」の充電システムに連携し、EV タクシー普及啓発事業では実際にタクシー事業者32社がEV タクシー50台で充電器を利用した効率的な運行稼働の実証を行います。これを契機に、兼松と日本ユニシスが有するEV 向け充電インフラシステムの資産やノウハウを共有し有効活用すべく、相互に連携を図ることにいたしました。</p> <p>本合意では、兼松が運営する充電器も相互に利用可能とするため、ユーザー認証機能のシステム的な連携について平成22年度内を目処に実現させる予定です。また、今後は相互システムの予約機能の連携、満空ステータスに関する情報の連携、利用履歴に関する情報のシステム的な連携等、両システム連携の高度化を図っていくこととしています。</p>  |
| 18 | 2月7日 | <p>NRIと日本ユニシスが銀行向けビジネスで協業</p> <p>～ 勘定系システム、ネットバンキング、情報系サーバ統合などの分野で ～</p> <p>野村総合研究所と日本ユニシスはこのほど、銀行の成長戦略を支援するビジネスにおいて、協業を開始しました。厳しい経済・経営環境が続く中で、銀行は新たなステージに向けて、変化に迅速かつ柔軟に対応できるよう、ビジネス戦略を見直しつつあります。野村総合研究所と日本ユニシスは、これまでそれぞれが培ってきた銀行業界およびその業務に関する知識、ソリューション力を相互補完的に活用し、より先進的で競争力のある提案を、銀行向けに行っていきます。具体的には以下の3点について、両者が共同で活動を実施し、詳細を検討の上で適宜実行に移します。</p> |
| 19 | 2月8日 | <p>ユニアデックス 国内初「Microsoft® System Center」に付加するIT資産管理パック販売開始</p> <p>～ 両製品の機能統合でシステム統制上の問題点が見える化。ITに対する経営視点の判断が可能に ～</p> <p>ユニアデックスは、日本マイクロソフトとの協業により、統合システム管理製品「System Center Service Manager 2010 (以下 SCSM)」に対応するIT資産管理パック「ユニアデックスIT資産管理パック for Microsoft System Center Service Manager」を開発し、3月11日 (金) から販売開始します。SCSM対応の資産管理分野の管理パックは国内初で、IT資産管理機能を付加することで、より経営視点に立ったIT運用管理を可能にします。</p> |

| 発表日 | | 内 容 |
|-----|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 20 | 2011年 2月15日 | <p>日本ユニシス 新住宅設計システムDigiDmeister™(次期DigiD®)販売開始</p> <p>～ プラグインによる機能追加、処理速度の向上を実現。 エンドユーザーへのスピーディーなアウトプットの提供が可能に ～</p> <p>日本ユニシスは、住宅設計CADシステム「DigiD」の次期システム「DigiDmeister」を、本日から販売開始します。「家づくり」は、6万点とも言われる家の部品を、さまざまな工程を経て1棟の家として形成します。日本ユニシスは、その「家づくり」を支援するシステムとして、1998年から住宅設計CADシステム「DigiD」を提供してきました。その後、十数年の歳月の中で、さらなる使い易さを求め、積算・CG・シミュレーションなどの多機能化を進めバージョンアップを重ねてきました。今回販売開始する「DigiDmeister」は、「DigiD」を通じた長年の取り組みの中で得た、多くの経験をもとに、新機能や追加機能をその都度容易に組み込める仕組み(プラグイン)を新たに追加し、大幅なレスポンス向上を実現しています。</p> |
| 21 | 2月21日 | <p>ICTサービスの新しい名称に「U-Cloud™」を採用し、クラウドサービスの充実と強化を図る</p> <p></p> <p>日本ユニシスは、2008年4月から立ち上げた、ICTサービスの新しい名称に「U-Cloud(ユークラウド)」を採用し、クラウドサービスの充実と強化を図ります。「U-Cloud」とは、日本ユニシスグループが提供するクラウドサービス、アウトソーシングサービスを合わせたICTサービスの総称であり、お客さまやマーケットに、その優位性をよりわかりやすく発信するための新しい名称です。日本ユニシスは、これまでクラウドサービスやアウトソーシングサービスを通して、サーバーやストレージ、ネットワークといったICTリソースだけではなく、データセンターや各種アプリケーション、運用・監視・セキュリティ・移行・検証にいたるまで、ICTサービスをワンストップでトータルに提供しています。</p> |
| 22 | 2月23日 | <p>U-Cloud™ IaaS サービスに新ラインアップ「ICT仮想デスクトップサービス」の提供開始</p> <p></p> <p>～ デスクトップ環境をクラウド上に構築し、さまざまな場所・端末から利用できる環境を提供～</p> <p>日本ユニシスは、U-Cloud IaaS (ICTホスティングサービスのアドオン(追加)サービスとして、新サービス「ICT仮想デスクトップサービス」の提供を3月1日から開始します。</p> <p>日本ユニシスは従来から、サーバー、ストレージ、ネットワークなどのICTリソースを月額利用できるIaaS (Infrastructure as a Service)レイヤ(層)のクラウドサービス「U-Cloud IaaS」を提供しています。今回提供を開始する「ICT仮想デスクトップサービス」は、企業内で個人が利用するPCなどのデスクトップ環境も利用型サービスに移行したいというお客さまの要望に応じた新しいサービスです。本サービスは、「U-Cloud IaaS」上に、仮想デスクトップ環境(OSやアプリケーション、データなど)を構築するため、利用者のPC環境の制限を受けずに、さまざまな場所・端末から安全に利用できる環境を提供するものです。本サービスと「U-Cloud IaaS」上のサーバー環境、ストレージ環境と組み合わせることで、会議室や支社などオフィス環境の変化にも柔軟に対応できます。また、ネットワークに繋がれば、PC、スマートフォンなどから仮想デスクトップ環境にアクセスできるため、外出先での業務やサテライトオフィス、在宅勤務にも対応可能です。</p> |
| 23 | 2月24日 | <p>大阪府内で電気自動車カーシェアリング事業を開始</p> <p></p> <p>～ 関西初、「日産リーフ」を府内6ヶ所に10台配備 ～</p> <p>オリックス自動車、日本ユニシス、イード、ジェーシービーは、大阪府の協力のもと、2011年3月1日より大阪府内において電気自動車(EV)カーシェアリング事業を順次スタートします。本取り組みは、環境省の2010年度地球温暖化対策技術開発等事業において「EVによる日本版Autolibに関する技術開発」の採択を受け、「大阪EVアクションプログラム」の一環として、EVに関わる新しいサービスを社会インフラの一つとして構築しようとするものです。</p> |
| 24 | 3月7日 | <p>流通次世代基盤「CoreCenter®」を発表</p> <p></p> <p>～ 流通業向け業務別システムをコンポーネント化し、クラウド型サービスで利用可能に。 第一弾として、小売業向けサービスを提供開始 ～</p> <p>日本ユニシスは、流通次世代基盤「CoreCenter」の提供を2011年4月から開始します。</p> <p>近年、流通業界においては、単一商品を扱う専門店から総合小売店へ、卸しや小売店を通さないメーカーの直販など、業態の垣根がなくなって来ています。しかし、従来型の業種別ソリューションではボーダーレスな業務システムの追加が困難であり、機能単位で最適な形でのシステム導入しか出来ませんでした。このような状況の中、業種システムをコンポーネント化し提供することにより、それぞれの業務システムの相互利用が可能になり、販売チャネルの拡大や顧客サービスの向上に寄与できる次世代型の流通基盤の構築が必要になります。本サービスでは、ビジネスのスピードに対応できるよう短期間でシステムを導入したい、顧客管理などが小売業向けソリューションの延長で拡張できる仕組みが欲しい、「商品管理」、「発注管理」など一部分の利用から開始したい、などのお客さまの要望に対応することができます。</p> |

| 発表日 | | 内 容 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 25 | 2011年 3月7日 | <p>ホーキング&インキュベーター及びEV関連主要企業 飲料自動販売機を活用した電気自動車用充電器普及事業を開始</p> <p>ホーキング、インキュベーター、日本ユニシス、ソフトバンクテレコム、ソフトバンクモバイル、ビーライト、パナソニック電工、福西電機、内外電機、愛知電機の10社は、飲料自動販売機を活用した電気自動車用充電器の国内インフラ普及事業を開始します。本事業は、10社とホーキングが出資及び提携関係を確立する国内飲料オペレーター組織全国47都道府県約50社の飲料オペレーターと連携し、飲料自販機の設置と合わせ、EV用充電器を施設・企業の費用負担無しで、全国の施設や企業に併設設置を進めるEV用充電インフラ普及事業です。現在、飲料自販機は全国に約250万台が普及する中、ホーキングが提携する国内飲料オペレーター組織は、多くのシェアを確保しています。今回、飲料自販機とEV用充電器を同時に設置することにより、EV普及前の課題となっているEV用充電インフラ普及の推進に貢献するものと考えています。</p> |
| |  | |
| 26 | 3月8日 | <p>名神高速道路の急速充電システム実証調査に参加</p> <p>日本ユニシスは、本日から開始される、名神高速道路の吹田サービスエリアにおける急速充電システム実証調査に参加します。日本ユニシスでは、電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(PHV)向け充電インフラシステムサービス「smart oasis®(スマートオアシス)」を開発し、昨年度より、自治体やガソリンスタンドなど国内各地の社会実証実験への提供を行い、他社に先駆けてサービス展開しています。このたびの急速充電システム実証調査は、京阪神間のEVの移動が可能となるよう、関西の高速道路網の中心である名神高速道路の吹田SA(上り)に、蓄電池を電源とする急速充電システムを整備し、そのシステムの運用等について調査するもので、大阪府、西日本高速道路、ニチコンとともに実施するものです。日本ユニシスは、本実証調査によって関西の高速道路網における急速充電システムの利用者認証や予約機能を「smart oasis」で提供し、今後、関西広域圏などの大都市圏への拡大、高速道路網への拡大、そして全国の充電インフラへの展開を目指します。</p> |
| |  | |
| 27 | 3月16日 | <p>東日本大震災により被害を受けた弊社提供機器を対象とした特別保守サービスを実施中</p> <p>日本ユニシスグループは、東日本大震災により被害を受けたお客様向けに、弊社提供の機器すべてにおいて特別保守サービスを実施します。</p> |
| | | |
| 28 | 3月18日 | <p>日本ユニシスグループ 東日本大震災の被災地域の自治体に向け、「自治体クラウドサービス」の無償提供を開始</p> <p>日本ユニシスは、東日本大震災で被災された地域の自治体に向けて、日本ユニシスの自治体向けクラウドサービスを無償で利用いただける「特別プログラム」を本日から提供し、被災者の救済と自治体業務の復旧を支援します。「特別プログラム」で提供するサービスは、以下のとおりです。</p> <p>1. クラウド型危機管理情報共有サービス 2. クラウド型住民情報サービス</p> |
| |  | |
| 29 | 3月28日 | <p>SaaS型サービス基盤「SASTIK®サービス」の無償提供を開始</p> <p>日本ユニシスは、震災や計画停電の影響により、通勤困難な社員が発生した企業・団体向けに、USB型認証キー(記憶容量0MB SASTIKキー)を使用したリモートアクセスツール「SASTIKサービス」を3ヶ月間無償で提供します。「SASTIKサービス」では、自宅や外出先のインターネットに接続できるパソコンに、専用のUSB型認証キーを挿入するだけで、お客さまが利用している社内メールシステムに外部からセキュアに接続することができます。またキーを抜き取るだけで、利用したパソコンには何の証跡も残さずに自動でログオフできる、リモート環境を実現します。これにより、計画停電および通常の通勤経路が確保できないなどの理由から、通常勤務時間に出社ができない、もしくは育児や介護など家族のサポートでフレキシブルな勤務形態が不可欠な社員および職員においても、通常勤務のスタッフと社内メールでのコミュニケーションが可能になります。</p> |
| |  | |
| 30 | 3月29日 | <p>東名高速道路の全てのサービスエリアの「電気自動車用急速充電システム」に 充電インフラシステムサービスを提供</p> <p>日本ユニシスは、中日本高速道路と高速道路関連社会貢献協議会が、共同で東名高速道路の全てのサービスエリアで3月29日から運用を開始する「電気自動車用急速充電システム」へ充電インフラシステムサービス「smart oasis®(スマートオアシス)」を提供します。2010年4月に、東名高速道路の海老名SA(上下線)と上郷SA(上下線)で運用開始された「電気自動車用急速充電システム」では、国内初の事例となる課金・決済を含む運用サービスを提供しています。今回、東名高速道路の足柄SA(上下線)、富士川SA(上下線)、牧之原SA(上下線)、浜名湖SA(上下線)、名神高速道路の多賀SA(下り線)、東名阪自動車道の御在所SA(上下線)の計11箇所(各SAに1台)に「電気自動車用急速充電システム」が増設されることで、東名高速道路では50～70kmの間隔で急速充電施設が提供され、東京から名古屋までEVで連続走行することが可能になります。</p> |
| |  | |

| 発表日 | | 内 容 |
|-----|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 31 | 2011年 4月4日 | <p>日本ユニシス、ユニアデックス 文部科学省が開設の「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」を支援</p> <p>～ クラウド型情報基盤サービスを提供し、被災者の要請と提供可能な支援を一覧に ～ 日本ユニシスとユニアデックスは、被災地域の復興支援の一環として、文部科学省の「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」に、クラウド型情報基盤サービスを提供します。本ポータルサイトは、被災地域で現在どのような支援を必要としているのかを、各地方公共団体や教育委員会などを通じて掲載していただくとともに、支援の検討をされている地方公共団体・教育委員会・学校・企業・NPOなどがどのような支援を提供することができるのかについて、登録いただくことにより、被災地域での支援が円滑に行われることを目指し、作成されたものです。今回、本ポータルサイトの開設にあたり、ユニアデックスのクラウド型情報基盤サービス「NeXtCommons®(ネクストコモンズ)」、日本ユニシスのクラウドサービス「U-Cloud™ IaaS」を利用して、サイト開設の立ち上げを無償で支援しています。</p> |
| | |  |
| 32 | 4月26日 | <p>購買部門向けSaaS型サービス「eSupplierStation®」を無償で提供</p> <p>～ 取引先企業の被災状況や工場稼働状況の確認を容易に ～ 日本ユニシス株式会社(本社:東京都江東区、社長:初井 勝人、以下 日本ユニシス)は、震災や計画停電の影響で、資材や部品の調達が難航している企業や団体を支援するため、インターネットを通じて取引先の状況を把握することができる、SaaS型サービス「eSupplierStation」を3ヶ月間無償で提供します。「eSupplierStation」は、購買部門が実施している取引先への調査やアンケートを効率的に実施し、サプライヤー(供給者)からの情報を有効活用するための取引先情報共有サービスです。購買部門で行われている情報のやり取りや情報の集計を効率化することができます。</p> |
| | |  |
| 33 | 5月6日 | <p>Windows Server®、SQL Server®を基盤とした「新勘定系システム」が鹿児島銀行で稼働開始</p> <p>日本ユニシスと鹿児島銀行は、「BankVision®」を利用して、オープンシステムをベースとした「新勘定系システム」を開発し、2011年5月6日から稼働を開始しました。2007年5月に稼働した百五銀行、2009年1月に稼働した十八銀行、2010年1月に稼働した筑邦銀行、同年5月4日に稼働した紀陽銀行、同年5月5日に稼働した佐賀銀行、2011年1月に稼働した山梨中央銀行に続き7行目の稼働となります。</p> |
| | |  |
| 34 | 5月17日 | <p>電通、日本ユニシス、MITメディア・ラボが協働で、 「空気が読めるコンピュータ」の実現に向けたプロジェクト第三弾「サーシャとプレゼント探し」を開始</p> <p>～ コモンセンスとソーシャルメディアを活用し、贈るものを一緒に考えてくれるサイト ～ 電通と日本ユニシスとMIT(米国マサチューセッツ工科大学)メディア・ラボは協働で、「空気が読めるコンピュータ」の実現に向けたプロジェクト第三弾として、5月17日から「サーシャとプレゼント探し」のサイトをオープンいたします。2010年9月24日にスタートさせた「空気が読めるコンピュータをつくろう」プロジェクトでは、わたしたち人間がコミュニケーションを図るときに前提として共有している常識的な背景知識や感覚(コモンセンス)を活用することで、ゆくゆくは「適切な時に適切な知識・言葉を使える、人間のように空気の読めるコンピュータ」の実現を目指しています。今回リリースする「サーシャとプレゼント探し」は、第一弾「ナージャとなぞなぞ」(連想ゲームを通じて参加者からコモンセンスを収集するサイト)と第二弾「Poi bot(ポイボット)」(ひとり一人の特徴を踏まえて、その人らしいつぶやきを自動生成するロボットサイト)に続く第三弾となります。このサイトでは、参加者とのネット上での対話を通して、サーシャというキャラクターがプレゼントを検討する際のアイデア出しを手伝ってくれます。サーシャが考え出すプレゼント案は完璧ではありませんが、参加者のフィードバックを得ながらプレゼントとして相応しいものを順次学習していきます。このプロジェクト第三弾が順調に進展すると、「空気が読めるコンピュータ」とソーシャルメディアを用いて、広告を含む幅広いコミュニケーション手法や消費者の生活とリンクしたECや顧客の文脈を理解したリアル店舗での接客のあり方などの次世代モデルの開発が可能となり、将来的には多様な企業に本格導入していただけるものと考えております。</p> |
| 35 | 5月18日 | <p>企業間電子取引(BtoB)プラットフォームを運営するインフォマートに「U-Cloud®IaaS」を提供</p> <p>～ クラウドサービスによる迅速なインフラと高い安全性を提供 ～ 日本ユニシスは、インフォマートの医療および美容業界向け企業間電子商取引(BtoB)プラットフォーム「MEDICAL Info Mart/BEAUTY Info Mart」のIT基盤として、U-Cloud IaaSを提供し、本年3月から本番稼働しました。インフォマートは、「MEDICAL Info Mart/BEAUTY Info Mart」を支えるIT基盤に、大量のデータ処理に対応する高性能と24時間365日稼働する安定性を重視しており、新規分野参入へのリスクヘッジと低コストでのスタートを可能とするIT基盤を求めています。またインフォマートが、アプリケーション・ソフトウェア開発および運営に専念するため、利用型の基盤活用も検討していました。このような要望にかなう要素を備えていることから、インフォマートは日本ユニシスのU-Cloud IaaSを選択しています。</p> |
| | |  |
| 36 | 5月19日 | <p>企業内の重要な情報を3つのセキュリティ機能で確実に守る「SecureTrunk®」を提供開始</p> <p>～ ユーザー認証強化、アクセス制御、データ暗号化の3つの機能を1つの製品で実現 ～ 日本ユニシスは、既存の共有ファイルサーバーの構成を変更することなく、3つのセキュリティ対策で安全・確実に重要な情報を守るセキュリティ製品「SecureTrunk(セキュアトランク)」を、情報セキュリティサービスシリーズ「iSECURE®(アイセキュア)」に追加し、本日から提供開始します。本製品は、企業内で共有するファイルサーバー上のファイルに対して、認証強化、アクセス制御、データの暗号化の3つのセキュリティ対策を一度に実現することで、情報漏えいを防ぎます。従来は、3つのセキュリティ対策を個別に導入するというケースが多く見られ、その場合、動作検証の負荷やサポートの分散といった課題がシステム管理者を悩ませていました。本製品では、これら3つの対策をパッケージングすることによりシステム管理負荷を削減し、個別に導入・構築するよりも低価格での提供を実現しました。</p> |

| 発表日 | | 内 容 |
|-----|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 37 | 2011年 5月20日 | <p>朝日信用金庫の営業店システムを刷新</p> <p>～ オープンプラットフォームによる次世代営業店システム「BANK_FIT-NE™」の導入開発を開始 「誰でも、簡単に、正しく」操作できる環境を提供し、店頭でのサービス向上と営業力強化を実現 ～</p> <p>日本ユニシスは、朝日信用金庫の営業店システムの刷新に着手しました。新営業店システムはオープンプラットフォームを採用した次世代営業店システム「BANK_FIT-NE (バンクフィット・エヌイー)」をベースに開発し、2012年6月に稼働開始予定です。</p> |
| 38 | 5月23日 | <p>日本図書館協会と協働で、「電子書籍を活用した東日本大震災復興支援サイト」を開設</p> <p>～ 被災地域の図書館職員や住民へ支援情報や電子書籍を提供 ～</p> <p>日本ユニシスは、社団法人日本図書館協会と協働で、東日本大震災の被災地域に向けて「電子書籍を活用した東日本大震災復興支援サイト」を5月23日から開設します。北地方では、図書館施設の被災に伴い、多くが休館あるいは部分的な開館状態にあり、被災地の教育やレクリエーションなどの機会が著しく損なわれている状況です。本サイトは、被災地域の図書館職員や住民へ、3D図鑑や音声付の教材など子どもの読書や教育に役立つ電子書籍や、災害時の対応マニュアルなど実務に役立つ情報を提供することで、復興へ向けての情報収集や心のケアに活用いただくことを目指しています。日本ユニシスは、本サイトの開設にあたり、日本ユニシスのクラウド型電子図書館サービス「LIBEaid/ライブエイド®」を利用して、サイト開設の立ち上げを無償で支援していきます。また、コンテンツの提供については、電子図書館への電子書籍の導入実績が豊富なiNEO(アイネオ)株式会社から提供協力を受けています。</p> |
| 39 | 5月23日 | <p>Windows Server®、SQL Server®を基盤とした 新国際勘定系システムが肥後銀行、山陰合同銀行、みちのく銀行で稼働開始</p> <p>日本ユニシスは肥後銀行、山陰合同銀行、みちのく銀行が共同利用する次期国際勘定系システム『OpenE'ARK®(オープンアーク)』を導入し、平成22年10月から肥後銀行、平成23年1月から山陰合同銀行、平成23年5月からみちのく銀行で各々業務を開始しました。これにより、OpenE'ARK稼働行は7行になります。</p> |
| 40 | 6月1日 | <p>オールインワンのインターナル・プライベートクラウドパッケージ 「U-Cloud @IPCP™」を提供開始</p> <p>～ サーバー統合、クラウド化による効率化、利便性の拡大に加え、CO2削減、電力使用料の削減に寄与 ～</p> <p>日本ユニシスは、ICTサービス「U-Cloud®」の新ラインアップとして、オールインワンのインターナル(設置型)・プライベートクラウドパッケージ「U-Cloud @IPCP」の提供を開始します。「U-Cloud @IPCP」により、これまでのエクスターナル(利用型)・プライベートクラウドに加えて、クラウド環境を自社内に所有したいというお客さまの要望にも対応可能になり、所有から利用まで、お客さまに最適な形態のクラウドコンピューティング環境の提供を実現します。「U-Cloud @IPCP」の第一弾として、中核製品であるプライベートクラウド基盤パッケージを、本日から提供開始します。</p> |
| 41 | 6月2日 | <p>SaaS型で在宅勤務・遠隔地間でのコミュニケーションを実現するサービス 「PowerWorkPlace®」の無償提供を開始</p> <p>～ 災害や計画停電時におけるコミュニケーションをPCで即時に実施 ～</p> <p>日本ユニシスは、計画停電対策や災害対策として、在宅勤務や遠隔地間コミュニケーションを実現するSaaS型「PowerWorkPlaceオンライン ユニファイド・コミュニケーション・サービス」に、豊富なリアルタイム・コミュニケーション機能を備えるMicrosoft® Lync™ 2010を加え、3ヶ月間無償で提供します。「PWPオンライン」を活用することで、計画停電および災害発生時に通勤経路が確保できないために、出社ができない社員および職員の状況確認が容易に実現できます。また、インスタント・メッセージやWeb会議を利用することで、遠隔地間においてもフェイス・トゥ・フェイスに近いコミュニケーションや会議の開催が可能になります。さらに、電話回線混雑時にもインターネット網を活用したソフトフォン機能により、電話同等のコミュニケーションの実施が可能になります。</p> |
| 42 | 6月2日 | <p>ユニアデックス 「U-Cloud®クラウド環境構築サービス」を提供開始</p> <p>～ 米Cloud.com,Inc.の「CloudStack™」を採用し、プライベートクラウド環境を小規模から手軽に構築可能 ～</p> <p>ユニアデックスは、企業のプライベートクラウド環境を構築する「U-Cloud クラウド環境構築サービス」を、6月20日から提供開始します。</p> |
| 43 | 6月3日 | <p>Webアプリケーションの開発から運用までの統合セキュリティ対策 「Webセキュア・クリニック・ソリューション™」の提供開始</p> <p>～ 「脆弱なWebサイトを作らない」「脆弱なWebサイトと知らずに運用しない」ためのセキュリティ強化策～</p> <p>日本ユニシスは、インターネットへ公開しているWebサイトを、セキュリティリスクから守るため、「Webセキュア・クリニック・ソリューション」を情報セキュリティサービスシリーズ「iSECURE®(アイセキュア)」に追加し、7月15日から提供開始します。本ソリューションは、「脆弱性が潜在するWebサイト」、「Webサイトの脆弱性の存在を知らない」、「攻撃や改ざんに気がつかない」など、Webサイトの高いリスク運用を、安全な運用にするためのセキュリティサービスです。企業システムへのセキュリティ対策は、要件定義段階から開発、テスト、運用の各フェーズで取り組むことが重要です。本ソリューションは、Webアプリケーションへのセキュリティ対策を体系立て提供するものです。第一弾として、(1)Web開発に携わる責任者向けセキュリティ eラーニングサービス (2)脆弱性診断サービス (3)改ざん検知・変更管理ソリューションの3つの機能を提供します。</p> |

| 発表日 | | 内 容 |
|-----|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 44 | 2011年 6月15日 | <p>クルマの燃費と事故とCO2を削減するソフト「ピースケ@燃費」を開発！</p> <p>～ 国内商用車200万台を対象に、月額300円の低価格で6月から販売開始 ドライブレコーダーとの相乗効果も ～</p> <p>クルマの環境負荷軽減活動をテーマに、関連する業界団体・企業と産学連携で研究を進めている「自動車アフターマーケット高度化コンソーシアム」では、法人業務車両の「燃費」「事故」「CO2」を削減するソフト「ピースケ@燃費」をコンソーシアム参加企業と共同開発しました。本ソフトは、大学発ベンチャーの株式会社早稲田環境研究所と株式会社地球健康クラブが産学連携で開発しました。コンソーシアム活動の一環として、本ソフトを多くの業務車両を保有する企業・団体向けに販売し、コンソーシアムのテーマの一つであるクルマの環境配慮行動につなげていきます。日本ユニシスは、自社のドライブレコーダーを活用したクラウド型「無事故プログラムDR®」サービスのオプションとして、本製品を「燃費管理サービス」として提供します。本サービスをドライブレコーダー導入の入門編として提供することで、燃費と事故の相関関係の解析を早稲田環境研究所と産学連携で進め、学術的データからのレポート提供等、他社のドライブレコーダーとの差別化商品として位置づけ拡販を展開していきます。</p> |
| 45 | 6月20日 | <p>日本ユニシス、ティーガイア ギフトカード/プリペイドカードを活用した「カードモールビジネス」で協業</p> <p>日本ユニシスとティーガイアは、今後日本国内でも本格的に市場拡大が見込まれている、ギフトカード/プリペイドカードを活用した「カードモールビジネス」において、協業を開始いたします。日本ユニシスとティーガイアは、このたびの協業により、コンビニエンスストアや量販店などに、「カードモールビジネス」の導入支援を行います。両社は、カードの調達、店頭プロモーション、システム運用、コールセンターなどのサービスを提供し、「カードモールビジネス」の展開を全面的に支援していきます。</p> |
| 46 | 6月27日 | <p>ユニアデックス パソコンを強制的にスタンバイ状態にする「e節電ツール」を無償配布</p> <p>～ “寝たふり”状態のパソコンも見逃さずスタンバイ。節電効果のレポートも作成 ～</p> <p>ユニアデックスは、企業のパソコンを強制的にスタンバイ状態(スリープ)にすることができる「e節電ツール」を独自に開発し、本日から無償で配布します。「e節電ツール」は、大掛かりな管理サーバーの構築やクラウド環境への接続が不要で、パソコン上で利用が可能です。</p> |
| 47 | 6月27日 | <p>兼松と日本ユニシス、 電気自動車向け充電インフラシステムサービスにおける相互認証が実現</p> <p>～ 京都の急速充電器と「おおさか充電インフラネットワーク」の認証連携が実現、京阪神の広域連携へ！ ～</p> <p>兼松と日本ユニシスは、2011年1月から大阪府の提案により、電気自動車(EV)向け充電インフラシステムの相互連携に向けた開発を進めて参りましたが、今般、両社の異なるシステム間での相互認証が完了致しました。これにより、京都府に設置している兼松の充電器と大阪府と神戸市で構築している「おおさか充電インフラネットワーク」の充電器、あわせて34基について6月27日から一枚のカードで相互に利用可能となりました。</p> |
| 48 | 6月30日 | <p>製薬業向け営業支援系システムをクラウド型サービスで提供</p> <p>～ 国内初、製薬業向けSFAにSalesforceを適用、iPhoneからのアクセスも可能に ～</p> <p>日本ユニシスは、製薬業向けに、SFAシステム、実消化システム、DWHシステムなどのMR(医薬情報担当者)活動に関わる一連の営業支援系システムをクラウド型サービスで提供します。本サービスは、第一号ユーザーとして日本化薬が、7月1日から利用を開始します。</p> |
| 49 | 7月1日 | <p>融資稟議支援システムを西武信用金庫で稼働開始</p> <p>～ 事務効率化と事務リスク低減により、さらなる顧客サービスの充実と営業力強化を実現 ～</p> <p>日本ユニシスは、日本ユニシスが運営する「信金共同利用型アウトソーシングセンター(SBOC東京)」に加盟している西武信用金庫向けに『融資稟議支援システム』を構築し、試行店での本番稼働を経て全店で本番稼働しました。</p> |
| 50 | 7月13日 | <p>日産リーフのカーナビに充電施設空き情報を配信</p> <p>～ NEXCO中日本管内サービスエリアとおおさか充電インフラネットワークの急速充電器の情報からサービス提供を開始 ～</p> <p>日本ユニシスは、本日から、日産自動車の電気自動車(EV)「日産リーフ」のカーナビへの充電インフラ情報配信サービスを開始します。本サービスは、カーナビ向けにNEXCO中日本管内のサービスエリアと大阪府、神戸市に設置された「おおさか充電インフラネットワーク」に接続する急速充電器の情報配信とリアルタイムの充電インフラ情報の配信を実施します。このたびの「日産リーフ」向け充電インフラ情報配信サービスは、日産自動車が提供するテレマティクスサービス(カーウイングス(注3))向けに、「smart oasis」と通信ネットワークによって繋がっている充電器の情報を配信するものになります。充電器情報をリアルタイムに管理する「smart oasis」と日産自動車カーウイングスのシステム連携を実現し、「日産リーフ」に標準装備されたカーナビ向けに、リアルタイムの充電器情報の配信が可能になりました。これにより、「日産リーフ」利用者は、走行中に最寄りの充電器の位置情報や利用可能時間、利用条件などの情報に加えて、リアルタイム充電器状態情報(満空情報等)を音声で確認することができます。なお、カーウイングスの情報チャンネル名称は、「スマートオアシス充電施設空き情報」です。</p> |

| 発表日 | | 内 容 |
|-----|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 51 | 2011年 7月21日 | <p>全国のローソン店舗で、プリペイド式「ギフトカードモール」を展開</p> <p>～ iTunes、HMV、任天堂、プラザスタイル、新方式のギフトカード/プリペイドカードを販売 ～ ローソンは、2011年7月26日(火)から全国のローソン(8,974店舗:2011年6月末時点、ローソンストア100除く)にて、ティーガイア、日本ユニシスが取り扱う新方式のギフトカード/プリペイドカード(以下「ギフトカード」)を活用した「ギフトカードモール」の展開を開始いたします。開始当初は4種類(iTunes Card/ニンテンドープリペイドカード/HMVギフトカード/プラザスタイルギフトカード)、13品目(デザイン違い含む)のカードを取り揃えます。今後、音楽やゲーム、雑貨など幅広いジャンルのカード等を追加していく予定です。新方式のギフトカードは、残高がすべてサーバー上で管理されるタイプのプリペイド式カードです。 ギフトカードモールにおける各社の役割については、ローソンがギフトカードの販売を、ティーガイアがプロモーション、流通・在庫の管理、コールセンター業務を、日本ユニシスがシステムの提供・運用、カード発行元に対する支援を、それぞれ担当します。</p> |
| 52 | 7月22日 | <p>静岡県立中央図書館と協同で、電子図書館の体験プロジェクトを開始</p> <p>～ 静岡県下でのデジタルコンテンツ利活用の可能性を探る ～ 日本ユニシスと静岡県立中央図書館は、7月22日から静岡県にて電子図書館の体験プロジェクトを開始します。本プロジェクトでは、静岡県内の130余りの団体が参加して住民や図書館関係者などに実際の電子図書館サービスを体験していただき、今後の静岡県の電子図書館施策の参考となる電子図書館の要件整理や利便性の検証や、県・市町図書館サービスの役割の整理を行います。 本プロジェクトは、今後の静岡県・市町の図書館サービスの役割の整理や、静岡県でのデジタルコンテンツ利活用(協同利用)のあり方などを研究するものです。このため、静岡県下の公共図書館や大学・学校図書館、専門図書館、行政機関など、幅広い関係者に参画いただいています。また、一般的な電子書籍(ビジネス書・文学・児童書など)とともに図書館や地域発のコンテンツ活用についても体験プロジェクトの対象としています。本プロジェクトは、図書館からの電子書籍・デジタルコンテンツの提供を可能にする、日本ユニシスのクラウド型電子図書館サービス「LIBEaid/ライブエイド®」を利用します。</p> |
| 53 | 7月25日 | <p>ティーガイア、日本ユニシス「ギフトカードモール」において、iTunes、任天堂、HMV、プラザスタイル4種類13品目のギフトカードの取り扱いを開始</p> <p>ティーガイア、日本ユニシスは、「ギフトカードモール」において、4種類(iTunes Card/ニンテンドープリペイドカード/HMVギフトカード/プラザスタイルギフトカード)、13品目(デザイン違い含む)のギフトカード/プリペイドカード(以下ギフトカード)の取り扱いを開始しました。これらのギフトカードは、全国のローソン8,974店舗(2011年6月末時点、ローソンストア100除く)で2011年7月26日(火)から購入することができます。ティーガイアと日本ユニシスは、今後、さらに量販店やECサイトなどの販売店を増やし、お客さまの利便性を高めるとともに、よりニーズの高いギフトカードの取り扱いを進めていきます。</p> |
| 54 | 7月26日 | <p>SaaS型教育プラットフォーム「LearningCast®」アップデート6 提供開始</p> <p>～ iPhone、iPadなどのスマートフォンやタブレット端末からの利用に対応 ～ 日本ユニシスは、教育プラットフォーム「LearningCast(ラーニングキャスト)」アップデート6の提供を本日から開始します。「LearningCast」は、SaaS(Software as a Service)で教育プラットフォームを提供する利用型のサービスで、企業の集合型研修の運営からeラーニングまでの研修業務を統合的に運営・管理する機能を提供するサービスです。アップデート6では、今後拡大すると予測されるeラーニング利用端末の多様化に対応して、iPhoneやiPadなどのスマートフォンやタブレット端末による学習に対応しました。</p> |
| 55 | 8月1日 | <p>日本ユニシスとワークスアプリケーションズ 人事・会計システム分野で協業</p> <p>～ERPパッケージ「COMPANY®」シリーズの拡販、U-Cloud® IaaS(ICTホスティングサービス)での提供を開始～ 日本ユニシスとワークスアプリケーションズは、人事・会計システム分野におけるERPパッケージ「COMPANY」シリーズの拡販、日本ユニシスのクラウドサービス「U-Cloud」上での「COMPANY」シリーズの提供について、協業を開始しました。日本ユニシスは「COMPANY」シリーズを自社の製造、流通、金融、サービス、公共公益事業、自治体など、すべての業種の大手ユーザーに対し販売を開始します。また、日本ユニシスは、ワークスへ「COMPANY」シリーズのクラウド基盤として、「U-Cloud IaaS(ICTホスティングサービス)」を提供、ワークスは「U-Cloud for COMPANY」として販売を開始します。</p> |
| 56 | 8月22日 | <p>「YAMADAモバイル」のポイント会員証サービス、およびインターネットショッピングサービスと総合インターネットショッピングサイト「YAMADAモール」が、スマートフォンに対応</p> <p>ヤマダ電機と日本ユニシスは、スマートフォンに対応したネットショッピングサービスを、8月22日(月)から開始いたします。ヤマダ電機は、これまで、ポイント会員証サービス機能および家電を中心としたインターネットショッピングサービスを提供する「YAMADAモバイル」と、総合インターネットショッピングサイト「YAMADAモール」を展開しており、携帯電話およびパソコンのみでのサービス提供となっておりました。8月22日より、「YAMADAモバイル」、「YAMADAモール」の全てのサービスについて、Android®スマートフォンを使用したワンストップでのご利用が可能となり、お客様の利便性が向上いたします。</p> |

| 発表日 | | 内 容 |
|-----|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 57 | 2011年 8月24日 | <p>日本ユニシス、インフォシス オーエスジーの新基幹システムにクラウド型アプリケーション保守サービスを提供</p> <p>～ 国内初、U-Cloud®上の仮想環境で稼働する『Oracle® E-Business Suite R12 』に インドから世界最高レベルの保守サポートを実施 ～</p> <p>日本ユニシス、インフォシス リミテッドは、総合精密切削工具のトップメーカーであるオーエスジーの新たな基幹システムに対し、両社連携によるアプリケーション保守サービスの提供を開始しました。今回のサービス提供は、日本ユニシスとインフォシスが調印した戦略アライアンス協定に基づくもので、国内ITサービスベンダーとインドのサービスベンダーによる業界初の共同サポート提供となります。またオラクルのサーバー仮想化ソフトウェア「Oracle VM」を利用し、同社から稼働保証されたOracle E-Business Suite 環境をIaaS (Infrastructure as a Service) 上で提供する国内初のケースです。</p> |
| 58 | 8月31日 | <p>日本ユニシス、ユニアデックス 移設や保守まで手間いらずの「ラックハウジングサービス」提供開始</p> <p>～ 堅牢性、安全性を確保した都市型データセンターでサービス提供 ～</p> <p>日本ユニシスとユニアデックスは、機器の移設作業やマルチベンダー保守、回線工事などもワンストップで提供し、併せてTCO削減も期待できる「ラックハウジングサービス」を9月1日から提供開始します。「ラックハウジングサービス」は、ラック使用料、電気固定料金(3kVA)、基本運用をパッケージ化して提供します。また「ラックハウジングサービス」は、「地震に関する地域危険度測定調査」にてAAA評価(危険度の低い地域)とされている東京都内のエリアに、JDCCのTier3およびTier4の主項目、FISCの安全対策基準(設備基準)に準拠している都市型データセンターを新たに稼働させ、堅牢かつ信頼性の高いサービスを提供します。</p> |
| 59 | 9月22日 | <p>信用金庫系リース会社向け基幹システム「LeaseCreation® for Shinkin Lease 」を販売開始</p> <p>～ 信用金庫系リース会社に特化したアプリケーションを共同開発し、 低コスト・短期間での導入、運用コストの削減を実現 ～</p> <p>日本ユニシスは、リース業界で25%以上のシェアを持つ、基幹システム「LeaseCreation」をベースに、信用金庫系リース会社に必要な機能を集約した「共通アプリケーション」をパッケージ化し、「LeaseCreation for Shinkin Lease (以下、LeaseCreation for SL)」として、10月1日から販売を開始します。日本ユニシスは、2000年からリース業向け基幹システム「LeaseCreation」を提供しており、150社以上のパッケージ導入、リース業界でのシェアは25%の実績を誇っています。この実績を活かし、お客さまの利便性向上とシステム維持コストの抑制を目的とした、信用金庫系リース会社に特化した「LeaseCreation for SL」を開発しました。</p> |
| 60 | 9月27日 | <p>日本ユニシス 日経BP社「第3回クラウドランキング」において、2部門で「ベストサービス」に選出されました</p> <p>日本ユニシスは、日経BPのIT系総合メディアである「日経コンピュータ」と「ITpro」が共同で実施する「第3回クラウドランキング」において、本日、2部門で「ベストサービス」に選出されました。この2部門で「ベストサービス」選出は、前回の「第2回クラウドランキング(2011年3月発表)」に続き、2回連続です。</p> |
| 61 | 9月28日 | <p>東京東信用金庫の勘定系システムを刷新</p> <p>日本ユニシスは、東京東信用金庫の新勘定系システムを開発・導入し、2011年9月20日から本番稼働を開始しました。都内信用金庫大手の東京東信用金庫は、自営オンライン方式にて当社製勘定系パッケージ(FAST1100)を利用していましたが、このたび勘定系システムを、当社「地域金融機関向け次世代勘定系パッケージ『SBI21(エス・ビー・アイ21)』」に刷新しました。今回稼働した『SBI21』は、既に18金庫で稼働実績のあるシステムで、信用金庫に必要な機能が具備された最新のシステムになります。</p> |
| 62 | 10月6日 | <p>アパレル業界大手の世界へ顧客管理システムをクラウド型サービスで提供</p> <p>～ ブランド、店舗ごとの顧客情報を統合し、マルチチャネル化に対応 ～</p> <p>日本ユニシスは、ワールドの顧客管理システムを刷新し、クラウド型サービスでの提供を開始しました。アパレルをはじめとしたBtoC業界では、商品や販売手法によって、CRM(顧客管理)戦略が異なり、店舗・Web・メールなどのマルチチャネル化の浸透や販売手法の変化に伴い、それぞれの戦略を掛け合わせた複雑なCRMが求められています。</p> <p>このような状況下、100以上のブランドを保有するワールドは、チャネルやブランドごとに個別に管理していたポイントカードや顧客情報を、新サービス「ワールド プレミアムクラブ」(http://my.world.co.jp/)に統合し、各サービス間をつなぐ統合マイページの提供を開始しました。新サービスは、第一弾としてワールドが展開する直営店舗とオンラインストア共通で利用できるポイントサービスの提供、第二弾としてキャンペーン(クーポン)サービスの提供を開始するとともに、Web・ブランド・店舗をつなぐサービスを順次マイページ上で展開していきます。</p> |
| 63 | 10月7日 | <p>日本ユニシスなど12社 「充電インフラネットワーク技術ワーキンググループ」を設置</p> <p>～ 大阪府、チャデモ協議会と共同で技術標準化に向けた取り組みを始動 ～</p> <p>日本ユニシスは、「おおさか充電インフラネットワーク」を構築する充電器メーカーやIT企業12社による「充電インフラネットワーク技術ワーキンググループ」を設置し、大阪府とCHAdEMO(チャデモ)協議会と共同で、充電インフラネットワークの技術標準化に向けた取り組みを開始します。本ワーキンググループは、大阪府が事務局を務め、大阪発のEVイノベーションを創出する会員組織大阪EVIS(EV Innovators)内に設置されています。充電インフラネットワークを複数の企業で構築し、電気自動車(EV)ユーザーに利便性の高い充電サービスを効率的に提供するために、必要となる統一的な技術仕様を検討し、実証実験などを通じて検証を行うことを目的としています。</p> |

| 発表日 | | 内 容 |
|-----|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 64 | 2011年 10月26日 | <p>広島県大竹市が、次期基幹業務システムにクラウドサービス「Civiccloud®」を採用</p> <p>～ 中国地方では初の本格的な自治体クラウドを提供 ～</p> <p>日本ユニシスは、大竹市から同市の次期基幹業務システムとして、日本ユニシスの地方自治体向けクラウドサービス「Civiccloud(シビクラウド)」を採用する決定を受けました。</p> <p>大竹市は、事業者からの提案を審査した結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹業務システムの構築、運用に係るコストを従来方式と比べて約40%削減。 ・基幹業務システムの運用が、堅牢かつ高度なセキュリティに守られたデータセンターで行われることから、甚大な広域災害が発生した場合でも業務の継続が可能。 ・市民サービスの向上を支援する機能、職員の業務負担を軽減する機能を多数装備。 ・豊富な導入実績に裏づけされた基幹業務システムを安心して利用でき、安全な環境を提供。 <p>などのことから、日本ユニシスが提供する「Civiccloud」の採用を決定しました。住民情報系基幹業務システムを、最新のクラウドコンピューティング技術を基盤に採用し、総合行政ネットワーク(LGWAN)(注2)経由で利用する取り組みは、中国地方では初めての本格的な自治体クラウドの導入事例です。</p> |
| 65 | 10月26日 | <p>町田市が防災システムにクラウドサービス「SAVEaid/セーブエイド®」を採用</p> <p>日本ユニシスは、町田市から、同市の「防災システム」構築業務委託に際し、地方自治体向けに提供しているSaaS型危機管理情報共有システム「SAVEaid/セーブエイド」の採用を受け、2012年3月本番稼働にむけ構築を行います。</p> <p>町田市は、大規模な地震や風水害などの災害発生時において、災害発生初動期の迅速な対応をはかるため防災システムの構築を目指しており、システムの運用、保守を含めたサービス提供型での調達を行い、日本ユニシスの「SAVEaid/セーブエイド」が採用されました。</p> <p>今回提供する「SAVEaid/セーブエイド」は、SaaS型での提供となるため、初期導入費用を大幅に削減できるとともに、システムの運用や保守は、日本ユニシスが一括で実施することで、町田市は作業負担の軽減が可能となります。</p> <p>また、日本ユニシスは、今回の町田市へのサービス提供に際して、「SAVEaid/セーブエイド」に備蓄管理機能、設備管理機能、ゼンリン住宅地図ASP対応といった機能拡張を実施し、今後、拡張した機能を標準商品化し、サービス提供することを予定しています。</p> |
| 66 | 10月27日 | <p>有田川町へ、クラウド型電子図書館サービスを提供</p> <p>～ 和歌山県内初の電子図書館サービスを開始。iPadによるコンテンツ貸出もスタート ～</p> <p>日本ユニシスは、富士通マーケティングと協働で有田川町へクラウド型電子図書館サービス「LIBEaid/ライブエイド®」の提供を開始します。</p> <p>電子書籍元年といわれる平成22年度を契機に、現在、図書館における電子書籍提供のニーズが高まっています。このような状況下、有田川町は生涯学習と地域交流の拠点として平成21年に有田川町地域交流センターを開館し、図書館・ミニ博物館・カフェが融合された子どもから大人まで気軽に集い、滞在できる施設として住民に広く利活用されています。今回のサービス拡張によって、より多くの住民の方が利用できる図書館作りを目指しています。</p> |
| 67 | 10月27日 | <p>ユニアデックス 日本初、インターネット経由でAPシステムの仮想環境を構築する技術を開発</p> <p>～ 即時使える状態でAPシステム一式を配信するサービスも提供開始 ～</p> <p>ユニアデックスは、このほどAPシステム環境一式を仮想化して、インターネット経由で利用者のクライアント/サーバー上に構築する技術を、わが国で初めて開発しました。またこの技術を使い、使いたい時に、使える状態でAPシステム一式を配信する「クラウドストリーム™サービス」を、本日から提供開始します。</p> <p>従来オンプレミスでAPシステムを使用する場合、利用者はOS、DB、APなどのシステムソフトウェア一式を自分でインストールし、システムとして最適なパフォーマンスを発揮できるように、ソフトウェアごとの設定を行う必要がありました。今回ユニアデックスが開発した技術は、利用者が使用するAPシステムに関連するOS、DB、APの各パラメーターを、稼働に最適な状態に設定し、インターネット経由で配信し、利用者のクライアント/サーバーに仮想環境を構築するものです。これにより利用者は、自分でさまざまな設定を行なうことなく、APの利用が可能となります。</p> |
| 68 | 10月28日 | <p>北國銀行が、次期基幹系システムとして 「次世代オープン勘定系システム『BankVision®』」の採用検討に合意</p> <p>日本ユニシスは、北國銀行と、同行における次期基幹系システムについて日本ユニシスが提供する「次世代オープン勘定系システム『BankVision』」の採用を目標に検討を実施することで合意し、双方の間で「基本合意書」を締結しました。</p> <p>これに基づき、北國銀行と日本ユニシスは、11月から、北國銀行の『BankVision』による次期基幹システムの導入スケジュールやホスティングサービスの利用形態など本システム導入に関する詳細検討を開始します。</p> |

U & U

Users & Unisys

UNISYS

※BANKSTAR、BankVision、Civicloud、CoreCenter、DigiD、DigiDmeister、eProT、eSupplierStation、LearningCast、LeaseCreation、LIBEaid/ライブエイド、OpenE' ARK、SAVEaid/セーブエイド、SecureTrunk、smart oasis、Webセキュア・クリニック・ソリューション、ビジネスパーク/BusinessParkは、日本ユニシス株式会社の商標または登録商標です。

※PowerWorkPlacelは、ユニアデックス株式会社の登録商標です。

※ValueDirectは、株式会社 野村総合研究所の登録商標です。

※iTunesは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。

※iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

※COMPANYは、株式会社ワークスアプリケーションズの登録商標です。

※Microsoft、Windows、Windows Server、SQL Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。